

[報告事項]

「2024（令和6）年度 事業報告について」

事業報告
実施概要
付属明細書

以上

2024年度 事業報告

公益財団法人 京都新聞社会福祉事業団（以下「事業団」）は、2025年3月18日（火）に設立60周年の記念日を迎えました。

2024年度（以下「当年度」）は、この節目の年にあたり、「中期行動計画（3カ年計画）」に基づき、事業の更なる発展と基盤の強化を目指し、さまざまな施策を推進してまいりました。

具体的には、ホームページおよびモバイルサイトの全面刷新、SNSの開設、電子決済による寄付受け付けの導入など、情報発信力と寄付利便性の向上を図り、将来を見据えたデジタル基盤の整備を進めました。

中期行動計画
4～6頁
参照

また、既存事業の活性化に向けては、各事業の成果を丁寧に検証し、運営の効率化と支援内容の充実を図るとともに、社会情勢の変化や多様化する福祉ニーズに応えるための新規事業の検討・準備にも着手しました。こうした取り組みを通じて、より持続可能な福祉活動の展開を目指し、地域社会への貢献を一層深めてまいります。

当年度の経常収益および経常費用は、いずれも1億5,570万6,094円となり、収支は相償となりました。

表1 2024年度 決算の骨子

（単位：円）

	2024年度決算	2024年度予算	増減額	執行率
経常収益	1億5,570万6,094円	1億4,230万1,000円	1,340万5,094円	109.4%
経常費用	1億5,570万6,094円	1億4,230万1,000円	1,340万5,094円	109.4%
経常増減	0円	0円	—	—

1 事業について

【福祉事業】

「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」は、経費の半額を負担いただいていた共催団体・京都洛北ライオンズクラブが、会員数の減少により解散されることになったため、毎年 京都・滋賀の2カ所で開催していた本事業を、当年度より京都・滋賀のいずれか一方で交互に開催とすることとしました。当年度は「京都」でのみ開催し、経費の抑制を図りました。

「全京都車いす駅伝競走大会」（京都府立丹波自然運動公園）は、6年ぶりの開催を予定しておりましたが、台風10号の接近により、安全面を最優先とし中止といたしました。

一方、「滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い」については、共催団体である「滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会」が、加盟施設54団体に対して行なった感染対策などに関するアンケート結果を踏まえ、近年は開催を見送っていましたが、当年度は5年ぶりに開催を実現いたしました。本事業は、滋賀県内の知的障害のある方々が音楽や演劇を鑑賞し、交流を深めることを目的としております。

【顕彰事業】

「京都新聞福祉賞」および「福祉奨励賞」は、設立60周年を契機として、従来の事業団単独主催から、京都新聞との連名主催へと移行しました。これにより、地域福祉の向上に顕著な功績をあげた個人・団体や、将来の活躍が期待される若い世代の個人・団体を、京都新聞グループ全体で支える体制が整い、新たなスタートを切ることができました。

【奨学金・助成事業】

新型コロナウイルス感染拡大への緊急対策として、2020年度から「愛の奨学金」および「工賃増へ向けての取り組み助成」の支給額を倍増してまいりました。これらの支給額については、中期行動計画に基づき、2026年度までに段階的にコロナ禍前の水準へ戻す予定であり、現在、減額を進めております。

この支給増額分の財源は、旧財団法人から継承した「福祉事業基金資産」を取り崩すことにより補填してきました。本資産は旧法人時代の一般寄付金を原資として積み立ててきたもので、事業全般の不足分を補うことを目的とした汎用性の高い資産です。

しかしながら、同資産を取り崩し続けた場合、20年～30年以内に枯渇する可能性があります。今後は、長期的視点に立って基金の健全な維持・運用を図る必要があります。2025年度以降も、高額寄付など寄付状況を注視しつつ、運用方針を検討してまいります。

表2 2024年度 奨学金・助成支給額について

(単位：円)

事業名	①2024年度	②2023年度	①-②
	実績支給額	実績支給額	増減
愛の奨学金	33,330,000	39,210,000	-5,880,000
工賃増へ向けての取り組み助成	2,000,000	2,450,000	-450,000

また、「京都新聞福祉活動支援」では、通常枠500万円に加え、企業会長からの高額寄付500万円を受けて障害者団体向けの特設枠を設け、合計1,000万円の予算で手厚く助成を実施いたしました。

当年度における助成・贈呈・奨学金の各事業は、いずれも予算の範囲内で適正に支援を執行しました。これらの総額（表6）は、5,635万2,106円で、予算執行率は95.4%となりました。＊各金額は支給額のみと比較です。

表3 2024年度 助成事業 8件

事業名	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成	2,000,000	2,450,000	-450,000	81.6%	2,000,000	0	100.0%
京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援	500,000	500,000	0	100.0%	500,000	0	100.0%
ホームヘルプサービス活動に関する備品助成	1,388,406	1,390,607	-2,201	99.8%	1,390,000	-1,594	99.9%
児童養護施設レクリエーション	1,919,500	1,989,700	-70,200	96.5%	2,230,000	-310,500	86.1%
京都新聞子育て仲間を応援	1,600,000	1,640,000	-40,000	97.6%	1,800,000	-200,000	88.9%
京都新聞子育て事業助成	838,000	835,000	3,000	100.4%	838,000	0	100.0%
京都新聞福祉活動支援	10,000,000	5,000,000	5,000,000	200.0%	10,000,000	0	100.0%
後援助成事業	1,435,000	1,465,000	-30,000	98.0%	1,580,000	-145,000	90.8%
①助成額合計	19,680,906	15,270,307	4,410,599	128.9%	20,338,000	-657,094	96.8%

表4 2024年度 贈呈事業 4件

事業名	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
高齢者配食サービス支援	209,500	221,000	-11,500	94.8%	375,000	-165,500	55.9%
高齢者へのプレゼント	528,700	696,000	-167,300	76.0%	617,000	-88,300	85.7%
児童養護施設生徒卒業お祝い金	2,440,000	2,120,000	320,000	115.1%	2,500,000	-60,000	97.6%
交通遺児卒業お祝い	208,000	151,000	57,000	137.7%	220,000	-12,000	94.5%
②贈呈額合計	3,386,200	3,188,000	198,200	106.2%	3,712,000	-325,800	91.2%

表5 2024年度 奨学金事業

事業名	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
③京都新聞愛の奨学金支給額	33,285,000	39,030,000	-5,745,000	85.3%	35,000,000	-1,715,000	95.1%

表6 2024年度 助成・贈呈・奨学金事業

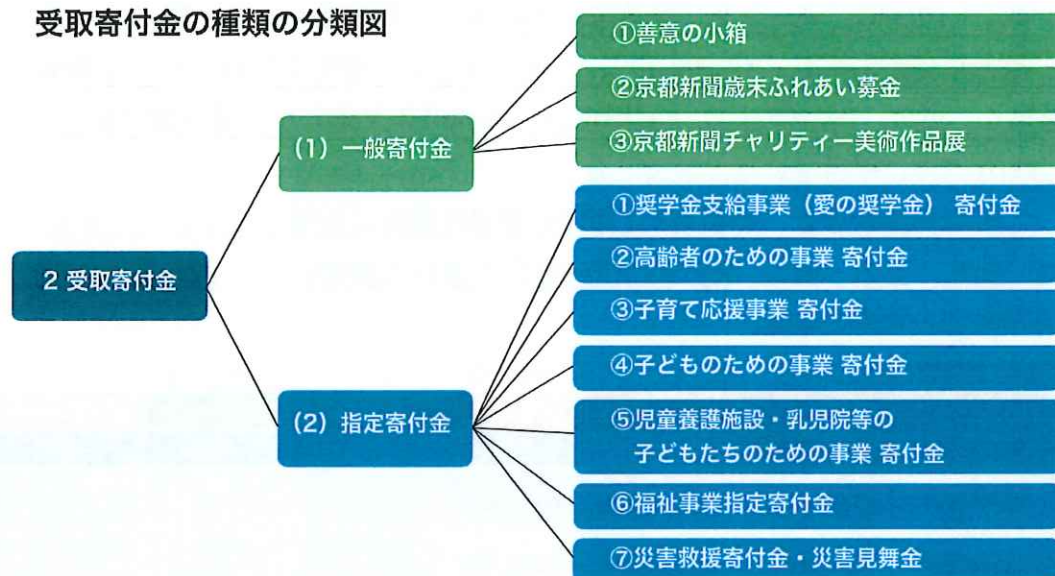
①＋②＋③ 助成額・贈呈額・奨学金支給額 総計	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	支給予算額	増減額	執行率
	56,352,106	57,488,307	-1,136,201	98.0%	59,050,000	-2,697,894	95.4%

2 受取寄付金について

当事業団の公益事業は、個人・団体・企業の皆さまからのご寄付によって支えられております。地域社会から寄せられる期待に応え、事業を着実に遂行していくためには、安定的な寄付金の確保が極めて重要な課題となっています。

寄付金は大きく分けて、(1) 福祉事業全般を対象とし用途を限定しない「一般寄付金」と、(2) 寄付者が特定の事業または用途を指定される「指定寄付金」の2種類に分類されます。当年度は『指定寄付金』に新たに「⑥福祉事業指定寄付金」を設けました。

受取寄付金の種類の分類図



2024年度の受取寄付金の総額は、2億27万1,645円（前年度3億273万1,263円）で、前年は能登半島地震救援金の受付開始時に1億8,517万8,087円という多額の寄付が集まったことから、前年度比66.2%、1億245万9,618円の減少となりました。予算（1億870万円）に対する執行率は184.2%となりました。

なお、災害救援金を除いた寄付金総額は1億7,101万9,601円（同1億1,599万2,836円）となり、高額寄付の受け入れが順調に推移した結果、前年度比147.4%、5,502万6,765円の増加となり、前年度を大きく上回りました。予算執行率は161.8%となりました。

表7 2024年度 受取寄付金

受取寄付金	(単位：円)				(単位：円)		
	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
一般寄付金	85,503,164	87,179,847	-1,676,683	98.1%	92,000,000	-6,496,836	92.9%
指定寄付金(救援金含む)	114,768,481	215,551,416	-100,782,935	53.2%	16,700,000	98,068,481	687.2%
総 額	200,271,645	302,731,263	-102,459,618	66.2%	108,700,000	91,571,645	184.2%
総 額 (救援金除く)	171,019,601	115,992,836	55,026,765	147.4%	105,700,000	65,319,601	161.8%

当年度は、高額寄付の獲得にも積極的に取り組みました。

4月には左京区在住の女性（匿名希望）より、前年に続いて「愛の奨学金」指定で1,000万円のご寄付を賜りました。また、5月には山科区在住の男性から亡母のご遺志により「愛の奨学金」指定で500万円のご寄付をいただきました。

更に、10月には株式会社ダイマルヤの森田一道会長より「障害のある人の事業に役立ててほしい」とのご趣旨で500万円をご寄付いただき、「京都新聞福祉活動支援」に新たに特別枠を設けて、助成に活用いたしました。

同じく10月に、オーシャン貿易株式会社 米田多智夫会長より、個人として「福祉車両贈呈事業」へ3,000万円、「愛の奨学金」指定で2,000万円のご寄付を賜り、更に、2025年2月には城陽市在住の森川久夫様より「愛の奨学金」へ1,000万円のご寄付をいただきました。

これらの寄付金は、寄付者のご指定の事業に確実に活用させていただきます。また、その一部は、次年度以降の指定事業の活動資金としても有効に役立てさせていただきます。

表8 2024年度受取 高額寄付金について

(単位：円)

(単位：円)

寄付者	寄付時期	寄付額	2024年度活用		2025年度活用		2026年度以降活用	
			指定事業名	金額	指定事業名	金額	繰越	金額
左京区の女性	2024年4月	10,000,000	愛の奨学金	10,000,000				
山科区の男性 (亡母の遺志)	2024年5月	5,000,000	愛の奨学金	5,000,000				
ダイマルヤ 森田会長	2024年10月	5,000,000	福祉活動支援	5,000,000				
米田多智夫様 (オーシャン貿易会長)	2024年10月	50,000,000			オーシャン号	30,000,000		
					愛の奨学金	20,000,000		
城陽市 森川久夫様	2025年2月	10,000,000			愛の奨学金	5,295,000		
							基金資産繰入	4,705,000
合 計		80,000,000		20,000,000		55,295,000		4,705,000

2025年度受取 高額寄付金について (5月9日現在)

左京区の女性	2025年4月	10,000,000			愛の奨学金	10,000,000		
米田多智夫様 (オーシャン貿易会長)	2025年5月	3,650,000			オーシャン号	3,650,000		
合 計		13,650,000				13,650,000		

一方、「誕生日おめでとうコーナー」「歳末ふれあい募金」「善意の小箱」といった個人寄付は、寄付者の高齢化や物価高騰の影響により、横ばいまたは、減衰傾向が見られます。こうした傾向は今後も続く可能性があるため、引き続き注視してまいります。

また、従来継続的に寄せられていた寄付が、被災地支援のために災害救援金へ振り替えられる事例も見られ、被災者支援のご意向も尊重しつつ、こうした動向もやむを得ないものと受け止めております。

更に、2025年度に向けた課題として、京都新聞本社ビルの再開発に伴う事務所移転があげられます。9月15日（月）をもって事業団事務所を移転することにより、ご高齢の寄付者を中心に、従来のように直接ご来訪いただくことが難しくなり、寄付の減少につながる可能性が懸念されます。

こうした影響を最小限にとどめるため、「移転案内」や「新事務所へのアクセス情報」について、寄付者の皆さまにハガキによる個別通知や、旧本社ビルでの掲示、京都新聞紙面およびホームページでの周知など、多様な手段でわかりやすく丁寧な情報発信に努めてまいります。

寄付環境の一層の厳しさが懸念される中、当年度に全面刷新したホームページおよびモバイルサイトを活用し、福祉活動に関する情報発信を更に強化してまいります。また、電子決済による寄付受け付けについても、周知を図り、より多くの方にご利用いただけるよう努めてまいります。

これらの取り組みを通じ、時間を要するかもしれませんが、寄付文化の更なる浸透と寄付者層の拡大を目指してまいります。

ともに生きる

書 杭迫柏樹

(1) 一般寄付金について

一般寄付金は、「善意の小箱」「京都新聞歳末ふれあい募金」「京都新聞チャリティー美術作品展」の3事業で構成され、いずれも金額規模が大きく、当事業団の公益事業の基盤を支えています。

2024年度の一般寄付金収入は合計8,550万3,164円（前年度8,717万9,847円）で、前年度比98.1%、167万6,683円の減少となりました。予算（9,200万円）に対する執行率は92.9%でした。

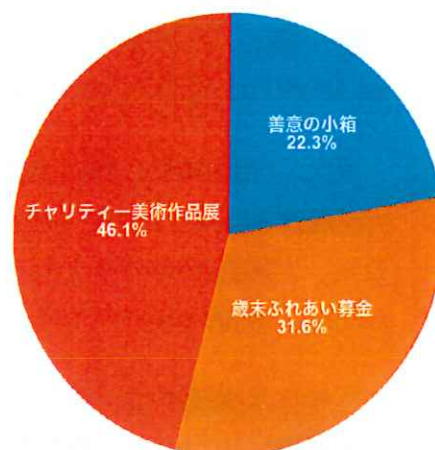


表9 2024年度 一般寄付金

(単位：円)					(単位：円)		
(1) 一般寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
①善意の小箱	19,059,392	17,107,011	1,952,381	111.4%	20,000,000	-940,608	95.3%
②歳末ふれあい募金	27,043,272	29,527,777	-2,484,505	91.6%	30,000,000	-2,956,728	90.1%
③チャリティー美術作品展	39,400,500	40,545,059	-1,144,559	97.2%	42,000,000	-2,599,500	93.8%
合 計	85,503,164	87,179,847	-1,676,683	98.1%	92,000,000	-6,496,836	92.9%

①善意の小箱

善意の小箱は、事業団の発足以前、1963年から続く「草の根」の寄付活動で、地域の皆さまから広くご支援をいただいています。当年度は193件、1,905万9,392円（前年度200件、1,710万7,011円）を集め、件数はわずかに減少したものの、金額は195万2,381円の増加、前年度比111.4%となりました。予算（2,000万円）執行率は95.3%でした。

個人寄付は高齢化や物価高騰の影響で横ばい傾向にある中、ダイマルヤの森田会長から500万円（「京都新聞福祉活動支援」特別枠）、京都中央信用金庫様の「中信チャリティーオープンゴルフ」の第50回記念で300万円（前年は171万2,123円）、下京区の男性から82歳の誕生日を迎えたことに感謝して82万円など、まとまったご寄付を多数いただき、寄付額の増加につながりました。



②京都新聞歳末ふれあい募金

年末恒例の「京都新聞歳末ふれあい募金」は、11月28日（木）から12月27日（金）まで実施し、1,381件、2,704万3,272円（前年度1,397件、2,952万7,777円）の温かいご支援をいただきました。前年度比91.6%、248万4,505円の減少となりました。予算（3,000万円）執行率は90.1%でした。



当年度も、前年の寄付者に対してダイレクトメールを送付し、継続的なご寄付を呼びかけました。寄付件数は前年比16件減と大きく減少しなかったものの、物価高騰などの影響により1件あたりの寄付額が減少したと考えられます。

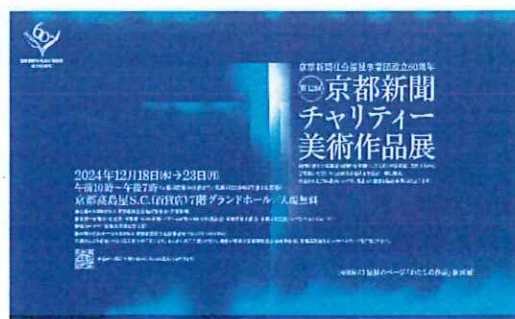
また、当年度は、刷新したホームページを活用した広報や、電子決済による寄付受け付けの導入など、新たな試みを行い、寄付手段の多様化に向けた一歩を踏み出しています。電子決済による申し込みは、10件、26万6,800円でした。

今後は、寄付者の高齢化や社会経済情勢の変化を踏まえ、紙媒体とデジタル媒体を効果的に組み合わせた情報発信を進め、寄付の呼びかけに一層工夫を凝らしてまいります。あわせて、電子決済をはじめとする利便性の高い寄付手段の拡充や、募金活動への共感を高める広報の強化を図り、幅広い世代からの参加と継続的な支援につなげてまいります。

なお、当年度も「京都新聞全販売所」による募金チラシの新聞折り込みおよび寄付金受け付けのご協力、ならびに「京都銀行」「京都中央信用金庫」「京都信用金庫」からの振り込み手数料免除のご協力を継続していただきました。

③京都新聞チャリティー美術作品展

「第42回京都新聞チャリティー美術作品展」を12月18日（水）から23日（月）までの6日間、京都高島屋S.C.（百貨店）7階グランドホール（下京区）にて開催しました。京都、滋賀を中心に全国の洋画家、日本画家、陶芸家、工芸家、彫刻家、宗教家、文化人ら861人（前年度862人）の皆さまからご賛同をいただき、福祉への思いのこもった1,034点（同1,021点）の作品をご寄贈いただきました。



今回は、若手作家への新規参加の促進を図り、特別展示コーナーも設けました。

会期中は天候に恵まれ、来場者数は4,630人（前年度4,508人）で前年度比102.7%、122人の増加となりました。入札件数は2,970票（同3,071票）で同96.7%、101票の減少となり、落札者数は440人（同437人）、落札点数は835点（前年同）、落札平均価格は、4万5,275円（同4万6,549円）でした。



また、落札作品引き渡し時には、過年度の未入札作品を対象にした「お求め会」も開催し、こちらを含む落札総額は3,940万500円（同4,054万5,059円）、同97.2%、114万4,559円の減少となりました。予算（4,200万円）執行率は93.8%です。



開催経費は、物価高騰による画材・額・梱包資材・配送料などの値上がりにより、1,885万8,885円（同1,709万853円）となりました。これにより、落札総額から経費を差し引いた福祉充当額は2,054万1,615円（同2,345万4,206円）で、同87.6%、291万2,591円の減少となりました。

表10 2024年度 チャリティー美術作品展

（単位：円）

（単位：円）

チャリティー美術作品展	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
落札総額 ①	39,400,500	40,545,059	-1,144,559	97.2%	42,000,000	-2,599,500	93.8%
開催経費 ②	18,858,885	17,090,853	1,768,032	110.3%	18,500,000	358,885	101.9%
福祉充当額 ①－②	20,541,615	23,454,206	-2,912,591	87.6%	23,500,000	-2,958,385	87.4%

（2）指定寄付金について

寄付者が用途を指定される「指定寄付金」は、現在常時6種類を受け付けております。これとは別に、大規模災害発生時には期間を定めて災害救援金を募集しており、当年度は「能登半島地震救援金」「能登豪雨災害救援金」「台湾東部沖地震救援金」「大船渡市林野火災救援金」の4件を受け付けました。

災害救援金を含めた指定寄付金の総額は、1億1,476万8,481円（前年度2億1,555万1,416円）で、前年度比53.2%、1億78万2,935円の減少となりました。予算（1,670万円）に対する執行率は687.2%でした。

一方、災害救援金を除いた総額は、8,551万6,437円（前年度2,881万2,989円）で、前年度比296.8%、5,670万3,448円の増加となり、個人および企業からのまとまった寄付を多数いただき、前年を大きく上回りました。予算（1,370万円）に対する執行率は624.2%でした。

表11 2024年度 指定寄付金

(単位：円)					(単位：円)		
(2) 指定寄付金	当年度	前年度	増減額	増減率	予算	増減額	執行率
① 奨学金支給事業寄付金	31,133,110	23,079,989	8,053,121	134.9%	9,000,000	22,133,110	345.9%
誕生日コーナー	4,715,623	4,947,353	-231,730	95.3%	5,500,000	-784,377	85.7%
協賛・愛の奨学金	26,167,897	17,891,206	8,276,691	146.3%	3,200,000	22,967,897	817.7%
協賛・愛の奨学金(交通遺児)	249,500	241,430	8,070	103.3%	300,000	-50,500	83.2%
② 高齢者のための事業寄付金	1,868,000	2,783,000	-915,000	67.1%	1,900,000	-32,000	98.3%
記念日コーナー	1,488,000	1,373,000	115,000	108.4%	1,540,000	-52,000	96.6%
協賛・高齢者事業	380,000	1,410,000	-1,030,000	27.0%	360,000	20,000	105.6%
③ 子育て応援事業寄付金	1,170,000	1,170,000	0	100.0%	1,170,000	0	100.0%
④ 子どものための事業寄付金	30,327	280,000	-249,673	—	230,000	-199,673	13.2%
⑤ 児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金	1,315,000	1,500,000	-185,000	87.7%	1,400,000	-85,000	93.9%
⑥ 福祉事業指定寄付金	50,000,000	0	50,000,000	—	0	50,000,000	—
小 計	85,516,437	28,812,989	56,703,448	296.8%	13,700,000	71,816,437	624.2%
ア. 能登半島地震救援金	18,888,307	185,178,087	-166,289,780	10.2%			
イ. 台湾東部沖地震救援金	1,018,601	0	1,018,601	—			
ウ. 能登豪雨災害救援金	3,882,297	0	3,882,297	—			
⑦ エ. 大船渡市林野火災救援金	5,462,839	0	5,462,839	—	3,000,000	-1,981,399	34.0%
オ. トルコ・シリア地震救援金	0	1,211,340	-1,211,340	—			
カ. モロッコ地震救援金	0	195,500	-195,500	—			
キ. リビア洪水救援金	0	153,500	-153,500	—			
小 計	29,252,044	186,738,427	-157,486,383	15.7%	3,000,000	26,252,044	975.1%
合 計	114,768,481	215,551,416	-100,782,935	53.2%	16,700,000	98,068,481	687.2%

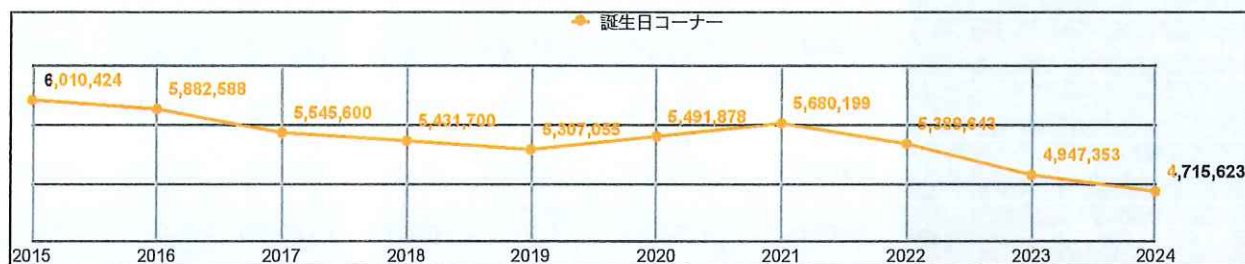
①奨学金支給事業寄付金

「京都新聞愛の奨学金」に充てられる寄付金のひとつに、「誕生日おめでとう」コーナーがあります。この取り組みは、誕生日を迎える方に、年齢×100円（20歳未満は一律2,000円）を寄付していただき、寄付者の名前などを京都新聞紙面で紹介するものです。



当年度は709件、471万5,623円（前年度747件、494万7353円）が寄せられ、件数で前年度比38件減、寄付額では23万1,730円減、95.3%と、減少傾向が続いています。

こうした状況を踏まえ、新たな賛同者の獲得が喫緊の課題です。今後はホームページを活用した広報の強化や、主催事業でのリーフレット配布、企業・団体への周知依頼を通じて、幅広い年齢層への寄付促進に努めてまいります。



また、「協賛・愛の奨学金」の一般分には、30件、2,616万7,897円（前年度27件、1,789万1,206円）が寄せられ、前年度比146.3%、827万6,691円増となりました。一般分として、4月に左京区在住の女性より1,000万円、5月には山科区の男性から「亡母の遺志」として500万円、さらに2025年2月には城陽市の森川久夫様より1,000万円のご寄付を賜りました。

交通遺児分には3件、24万9,590円（同3件、24万1,430円）が寄せられました。

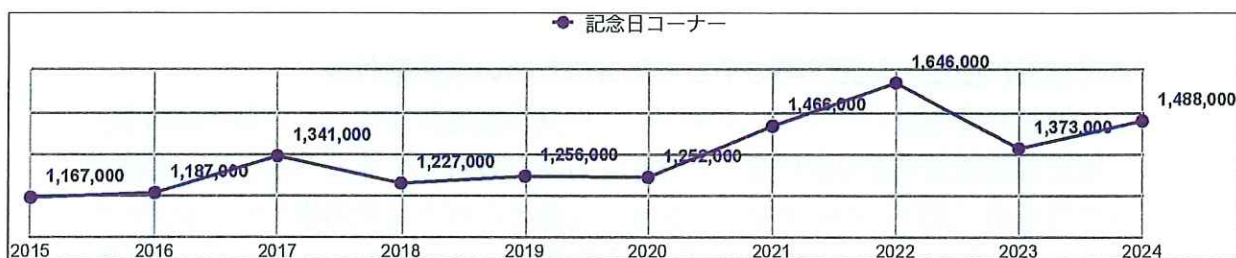


「誕生日おめでとう」コーナー分を含めた総額では、3,113万3,110円（同 2,307万9,989円）となり、前年度比134.9%、805万3,121円の増加となりました。予算（900万円）執行率は345.9%でした。

※なお、左京区の女性からは、2025年4月にも1,000万円の寄付をいただいております、次年度（2025年度）の「協賛・愛の奨学金」一般分として計上いたします。

②高齢者のための事業寄付金

「高齢者のための事業」に充てられる寄付金のひとつに、「記念日おめでとう」があります。この取り組みは、企業・団体の創立・設立周年を記念して、周年数×1,000円の寄付をお願いするもので、企業・団体名と周年数などを京都新聞紙面にて紹介しています。当年度は26件、148万8,000円（前年度24件、137万3,000円）が寄せられ、前年度比108.4%、11万5,000円増となりました。



また、「協賛・高齢者事業」としては、中京区のうなぎ店から「車いす贈呈事業」を指定して毎月3万円の継続的なご支援をいただき、他で2万円の寄付もあり、合計13件、38万円（前年度14件、141万円）が寄せられ、前年度比27.0%、103万円減となりました。前年度、城陽市の男性から「亡母が在宅介護でお世話になった感謝の気持ちとして高齢者事業へ」と、100万円のご寄付をいただいたことが要因です。

「記念日」と「協賛」を合わせた総額は186万8,000円（同278万3,000円）で、前年度比67.1%、91万5,000円の減少となり、予算（190万円）執行率は98.3%でした。

③子育て応援事業寄付金

子育てグループや支援団体に助成する「子育て仲間を応援」と子育て催事・事業を支援する「子育て事業助成」に充てる指定寄付金です。

当年度も中京区の手電子部品メーカーの実質創業者の生誕117年を記念し、遺族から



117万円が寄せられました。予算執行率は100%。

※前年度は、116年で116万円の他に個人寄付1万円があり 117万円

④子どものための事業寄付金

「京都新聞お楽しみ子どもシアターin 京都」など、子どもを対象にした福祉事業に充当する指定寄付金です。

「子どもシアターin京都」の共催団体であった京都洛北ライオンズクラブ（左京区）が会員減少に伴い活動を見直したため、当年度から共催が終了し、本事業への寄付がなくなりました。



今後は事業団が単独で主催し、京都・滋賀を隔年で開催（当年度は京都のみで実施）します。また、本事業の意義を広く発信し、新たな寄付者や支援団体の獲得に一層努めてまいります。

※京都洛北ライオンズクラブは、2025年6月30日をもって解散予定です。

⑤児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金

「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設高校生への奨学激励金」「児童養護施設卒業お祝い金」に充当する指定寄付金です。当年度は、京都ゴルフ倶楽部（北区）がレクリエーション支援のために長年開催しているチャリティーゴルフ大会から101万5,000円、「藤田めぐみ父の日コンサート」実行委員会から30万円が寄せられ、総額131万5,000円となり、前年度比87.7%、18万5,000円の減少となりました。予算（140万円）執行率は93.9%でした。

⑥福祉事業指定寄付金

寄付者のご意向により具体的な事業など用途を指定されるケースで、現在の「特定寄付金①～⑤」に該当しないものに対応するため「福祉事業指定寄付金」を設けました。

当年度は、昨年10月、オーシャン貿易株式会社 取締役会長の米田多智夫様より個人として5,000万円のご寄付を賜りました。用途は「愛の奨学金」と「オーシャン号（福祉車両）贈呈」事業ですが、これらを一括して「米田多智夫基金資産」に繰入れて管理するため、「福祉事業指定寄付金」で受けました。

このように、寄付者の明確な思いを反映したご寄付に対しては、その趣旨を最大限に尊重し、今後の事業計画の中で適切に活用してまいります。

⑦災害救援寄付金

地震や台風などの自然災害発生時に、被災者支援を目的として救援金を募集しています。

当年度は、4件の救援金を受け付け、合計2,925万2,044円の寄付をいただきました。

前年度は「能登半島地震救援金」受付開始直後に多額のご寄付（総額1億8,673万8,427円）が集まり、当年度は前年度比15.7%、1億5,748万6,383円の減少となりました。

2024年度に受け付けた救援金の2,925万2,044円のうち、2024年度中に被災地へ寄託済みの金額は2,268万2,660円〔2024年4月1日（月）～2025年1月31日（金）受取分〕です。残額656万9,384円〔2025年2月1日（土）～3月31日（月）受取分〕は、事業団の災害救援金基金資産に繰り入れ、2025年度受け付け分とあわせて、2025年5月30日（金）に被災地へ届けました。

表12 2024年度 災害救援金について

（単位：円）

名称	2024年度受取総額 (2024.4.1～2025.3.31)		2024年度被災地寄託済み (2024.4.1～2025.1.31受取分)	基金繰入救援金 2025年5月30日被災地寄託済 (2025.2.1～3.31受取分)		通期累計金額 (2025.3.31まで/前年度含む)	
	累計 件数	金 額	寄託金額	件 数	金 額	累計 件数	金 額
ア.能登半島地震救援金	167	18,888,307	17,866,657	21	1,021,650	878	204,066,394
イ.台湾東部沖地震救援金	44	1,018,601	1,018,601	0	0		
ウ.能登豪雨災害救援金	132	3,882,297	3,797,402	4	84,895		
エ.大船渡市林野火災救援金	40	5,462,839	0	40	5,462,839		
2024年度決算数値		29,252,044	22,682,660		6,569,384		

ア. 能登半島地震救援金

石川県の能登地方を震源とする地震により甚大な被害を受けた被災者救援のため、2024年1月5日（金）より受け付けを開始し、5度の延長を経て、2025年6月30日（月）まで募集を継続しています。

当年度分〔2024年4月1日（月）～2025年3月31日（月）〕は累計167件、1,888万8,307円。

石川・新潟・富山・福井の各県災害義援金配分委員会を通じて被災者にお届けします。



イ. 台湾東部沖地震救援金

台湾東部沖の沿岸を震源とする地震により甚大な被害を受けた被災者救援のため、2024年4月6日（土）から6月28日（金）まで受け付けました。

寄付は累計44件、101万8,601円となり、日本赤十字社を通じて救援活動、復興支援に役立てました。

ウ. 能登豪雨災害救援金

石川県能登地方の豪雨により甚大な被害が発生したことを受け、被災者救援のため、2024年9月25日（水）より受け付けを開始し、2度の延長を経て2025年6月30日（月）まで募集を継続しています。

当年度分〔2024年9月25日（水）～2025年3月31日（月）〕は累計132件、388万2,297円。

石川県（災害義援金配分委員会）を通じて被災者にお届けします。

エ. 大船渡市林野火災救援金

岩手県大船渡市で発生した林野火災により甚大な被害を受けた被災者救援のため2025年3月9日（日）から6月30日（月）まで受け付けています。

当年度分〔2025年3月9日（日）～2025年3月31日（月）〕は累計40件、546万2,839円。

救援金は、岩手県（災害義援金配分委員会）を通じて、被災者にお届けします。

3 公益事業基金資産について

公益事業基金資産については、「財産管理運用規程」第4条の「公益事業基金資産の種類と目的」に基づき、必要に応じて取り崩し、各基金資産の目的に沿った事業に確実に活用いたしました。

表13 2024年度 公益事業基金資産

(単位:円)

(単位:円)

公益事業基金資産	当年度	予算	増減	執行率	目的事業	当年度内訳
① 福祉事業基金資産	12,026,578	21,743,400	-9,716,822	55.3%	公益目的事業（障害のある人のための事業、高齢者のための事業、子どものための事業、子育て応援事業、福祉活動支援事業、奨学金支給事業、福祉啓発事業、ボランティア活動支援事業、その他の福祉事業、チャリティー事業）	12,026,578
② 交通災害救済基金資産	952,933	235,000	717,933	405.5%	交通遺児卒業お祝い	212,020
③ 交通遺児奨学金支給事業基金資産	588,042	1,860,000	-1,271,958	31.6%	愛の奨学金 交通遺児の部	740,913
④ 働く少年のための奨学金基金資産	902,084	1,530,000	-627,916	59.0%	愛の奨学金 定時制・通信制高校生の部	902,084
⑤ 児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産	7,417,415	8,162,000	-744,585	90.9%	愛の奨学金 児童養護施設高校生奨学激励金	4,351,840
					児童養護施設レクリエーション	605,142
					児童養護施設卒業お祝い金	2,460,433
合 計	21,887,052	33,530,400	-11,643,348	65.3%		21,887,052

※当年度 福祉事業基金=福祉事業基金資産90,000,000円-福祉事業基金資産戻入額77,973,422円=12,026,578円

※②～⑤の公益事業基金資産の元本から生じた運用益は、各資産の目的事業に従って別途使用しました。

③交通遺児奨学金支給事業基金資産

予算186万円を計上していましたが、本基金資産の期首残高が58万8,042円しかありませんでした。

「愛の奨学金 交通遺児の部」に充てる取り崩し額は132万8,955円であったため、74万913円の不足が生じ、「②交通災害救済基金資産」より補填しました。

②交通災害救済基金資産

予算23万5,000円を計上しており、「交通遺児卒業お祝い」に充てる予定で、その実績支出は21万2,020円でした。これに加えて、前述の「愛の奨学金 交通遺児の部」不足分の74万913円を補填したため、合計で95万2,933円を取り崩しました。

なお、両基金の使途は以下の通りです。

- ・③交通遺児奨学金支給事業基金資産：「愛の奨学金交通遺児の部」
- ・②交通災害救済基金資産：「愛の奨学金交通遺児の部」「交通遺児卒業お祝い」

その結果、期末残高は、

- ・③交通遺児奨学金支給事業基金資産：0円
- ・②交通災害救済基金資産：1,964万7,627円

次年度以降「愛の奨学金 交通遺児の部」および「交通遺児卒業お祝い」において基金資産からの取り崩しが必要となる場合は、「交通災害救済基金資産」より支出する予定です。

財産管理運用規程

第4条 公益事業基金資産の種類と目的

公益事業基金資産の種類と目的は、以下のとおりとする。

- (1) **福祉事業基金資産** 公益目的事業（障害のある人のための事業・高齢者のための事業・子どものための事業・子育て応援事業・福祉活動支援事業・奨学金支給事業・福祉啓発事業・ボランティア活動支援事業・その他の福祉事業・チャリティー事業）に使用する。
- (2) **交通災害救済基金資産** 公益目的事業のうち「子どものための事業」の「交通遺児卒業お祝い」と「奨学金支給事業」の交通遺児奨学金に使用する。
- (3) **交通遺児奨学金支給事業基金資産** 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の交通遺児奨学金に使用する。
- (4) **働く少年のための奨学金基金資産** 公益目的事業のうち「奨学金支給事業」の働く少年のための奨学金に使用する。
- (5) **児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業基金資産** 公益目的事業のうち奨学金支給事業の「児童養護施設高校生への奨学激励金」「児童養護施設レクリエーション」「児童養護施設卒業お祝い金」に使用する。



ともに生きる
[TÔMÔNI - IKIRU]

2024年度 実施事業

1 障害のある人のための事業

障害のある人が社会の一員として自立し、豊かな生活を送るためには、就労支援や文化・スポーツ活動の機会を広げることが重要です。事業団では、障害のある人の社会参加を促進し、生活の質の向上を図るため、就労支援、体験活動、スポーツ、芸術文化の各分野において多様な事業を展開します。

(1) 障害のある人の自立支援

① シンポジウム「障害のある人の就労支援」

(2025年2月16日、京都新聞文化ホール・京都市中京区)

京都市内の企業人や福祉、教育関係者らでつくる京都市障がい者就労支援ネットワーク会議（C o C o ネット会議）の協力で、シンポジウム「障害のある人の就労支援」を2月16日（日）に開催しました。1部では、京都中小企業家同友会理事で、重度と軽度の知的障害のある双子の高校生の父親でもある芳賀久和氏に「障害者雇用における中小企業と地域との連携」と題して講演いただき、障害者雇用や家族支援に取り組んできた経験や自身の障害者雇用に対する思いを話していただきました。2部では、積極的に障害のある人の実習を受け入れている株式会社ワタナベ美装社長の渡邊真規氏と同社社員で障害のある当事者に登壇いただき、職場体験・実習の必要性や経緯、職場の環境整備などについて講演していただきました。グループ交流会では、参加者同士でグループに分かれ、それぞれの立場から就労に対する思いなどを話し合いました。当日は約110人の参加がありました。



＝事業費17万5,317円、執行率52.5％／予算33万4,000円

② 京都新聞おでかけ公演・障害者団体

(2025年3月3日、社会福祉法人こなんSSN シエスタ・草津市／26日、京都^{こう}喉友会・長岡京市＝実施は京都市中京区で)

障害のある人が利用する福祉施設や作業所、団体、つどいなどを訪ね、日ごろ外出しにくい人たちに演奏会など公演(コンサート)をプレゼントする「おでかけ公演」を開催しました。公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団に所属するメンバー2人によるクラシック音楽や歌謡曲など約10曲とトークのデュオ演奏会で、3月3日(月)に社会福祉法人こなんSSN シエスタ、26日(水)に京都喉友会の2団体で行いました。



＝事業費17万3,178円、執行率86.6％／予算20万円

③ 障害のある人の工賃増へ向けての取り組み助成（2025年2～3月、助成先60名）

障害のある人の工賃増を目指す障害者支援事業所の取り組みを支援するもので、「京都新聞福祉活動支援」と同時募集して、経済活動の一助として効果的、効



率的な支援を目指しています。当年度は20団体（前年度20団体）から申請があり、2月20日（木）の選考委員会（委員名簿・資料74頁）で11団体（同13団体、地域別の内訳は京都府2団体、京都市6団体、滋賀県3団体）に総額200万円（同245万円）を助成することを決め、3月26日（水）に京都新聞ビル会議室で贈呈式を行いました。物価高の影響などによる販売不振を打開するための新商品開発、新規分野への進出、生産性向上のための設備整備などに助成しました。

＝事業費203万4,130円、執行率99.8％／予算203万8,000円

（2）みんなで海釣り－障害のある人の体験講座

（9月7～8日、京都府立海洋高等学校、府立青少年海洋センター マリーンピア・宮津市）



障害のある人が宮津市の日本海で海釣りを楽しみ、交流する1泊2日のレクリエーション体験講座で、9月7日（土）から8日（日）まで、神戸新聞厚生事業団との共催で実施しました。京都府・滋賀県32人、兵庫県20人の計52人の障害のある人と介助者を招待して、京都府磯釣り連合会や日本釣振興会、宮津市社会福祉協議会のメンバー、海洋高校の教職員や生徒ら総勢133人にボランティアスタッフとして参加していただきました。初日は宿泊先の海洋センターで、海洋高校生による講座「海のふしぎについて」や、釣りインストラクターらによる魚の釣り方や救命具の着用方法などの講習を行い、2日目は府立海洋高校の栈橋で海釣りを体験しました。

＝事業費118万2,636円、執行率93.5％／予算126万5,000円

（3）第44回全京都障害者総合スポーツ大会

（6～10月、京都市障害者スポーツセンターなど府内各地）



京都障害者スポーツ振興会と京都府、京都市、両府市の身体障害者団体連合会、京都手をつなぐ育成会などとの共催事業で、1981年の「国際障害者年」を記念してスタートし、現在では障害のある人のための総合的なスポーツ大会になっています。6月23日（日）の総合開会式・卓球バレーを皮切りに、7競技大会を京都府内の各地で実施し、計1,235人の選手が参加しました。他の競技大会の日程は、ボッチャ＝7月15日（月・祝）▽卓球＝7月21日（日）▽水泳＝8月18日（日）▽陸上競技＝9月8日（日）▽アーチェリー＝9月15日（日）▽フライングディスク＝10月14日（月・祝）。

＝事業費85万960円（支払分担金85万円）、執行率99.9％／予算85万2,000円

（4）第40回全京都車いす駅伝競走大会・第34回全京都車いすミニ駅伝競走大会

（9月1日、京都府立丹波自然運動公園陸上競技場・京都府京丹波町）



丹波路を駆ける「車いす駅伝」と重度障害のある人らが対象の「車いすミニ駅伝」を9月1日（日）に府立丹波自然運動公園（京都府京丹波町）で開く予定でした。しかし、台風10号の接近に伴い、両大会の準備が整わないことや走路の十分な安全確保が困難になるおそれがあり、出場選手、ボランティアの安全を最優先に考えて、主催団体で協議し、開催を中止しました。同大会は、京都府身体障害者団体連合会、

京都障害者スポーツ振興会、京都新聞との共催で、南丹市や京丹波町、両市町の身体障害者福祉会などと実行委員会をつくっています。

＝事業費16万7,643円、執行率16.8％／予算100万円

（５）天皇盃 第36回全国車いす駅伝競走大会

（2025年3月9日、国立京都国際会館前・京都市左京区―たけびしスタジアム京都・右京区）

京都府、京都市、日本パラスポーツ協会、京都新聞などとの共催事業で、全国都府県から18チーム（前回16チーム）が参加しました。大会前日3月8日（土）には、京都市左京区のザ・プリンス京都宝ヶ池で選手、大会役員らが出席して開会式や交歓会が催されました。当日3月9日（日）は、国立京都国際会館前をスタートし、たけびしスタジアム京都（西京極総合運動公園陸上競技場）をフィニッシュとする5区間21.3㎞で、熱戦が繰り広げられました。



＝事業費50万920円（支払分担金50万円）、執行率98.2％／予算51万円

（６）第44回京都ゆとりスポーツの集い ソフトボール大会

（5月17日、勸修寺公園グラウンド・京都市山科区）

京都府内の精神病院やクリニックで実行委員会をつくり、治療や社会復帰のための生活訓練を受ける精神障害のある人を対象にソフトボール大会を開いています。当年度は5月17日（金）に開催し、3チームが参加して試合を行いました。



＝事業費15万300円（支払分担金15万円）、執行率98.9％／予算15万2,000円

（７）障害者スポーツ事業共催

＝①～③事業費30万980円、執行率99.3％／予算30万3,000円

障害者スポーツの振興を目的に、以下の大会を関係団体と共催します。

①「第32回パラアーティスティックスイミングフェスティバル」

（10月6日、京都市障害者スポーツセンター・京都市左京区）

日本パラアーティスティックスイミング協会、京都市障害者スポーツ協会などとの共催で、障害のある人となない人が一緒に競技し、年齢も問わない水泳大会で10月6日（日）に開催しました。京都をはじめ埼玉県や兵庫県など8都府県のほか、台湾からの海外チーム（参加者10人）も参加し、14団体125人が出場し、35演技を披露しました。演技種目はソロ、トリオ、デュエット、チームI・II、フリーコンビネーションの6種目でした。



＝事業費10万980円（支払分担金10万円）、執行率100.0％／予算10万1,000円

②「第17回京都障害者施設卓球バレー大会兼全国交流大会」

（5月12日、京都市障害者教養文化・体育会館・京都市南区）

スポーツを通じて障害者福祉の向上を図ることを目的に、京都卓球バレー協会との共催事業として実施しています。当年度は、5月12日（日）に開催しまし



た。府内8チームと滋賀県、兵庫県、和歌山県、香川県から4チームが参加し、12チーム113人の選手が試合を通じて交流を深めました。

＝事業費10万円（支払分担金10万円）、執行率99.0％／予算10万1,000円

③「第26回ボッチャ大会」

（2025年1月18、19日、京都市障害者スポーツセンター・京都市左京区）



障害のある人の体力維持、増進と交流を深めることを目的に京都市障害者スポーツセンターなどと共催しています。当年度は1月18日（土）と19日（日）に開催しました。当日は、10代から80代の70人の参加があり、福祉事業所を利用する障害のある人や特別支援学校の生徒らがチーム戦、ペア戦、個人戦に分かれて競技し、介護者やボランティアらにお手伝いをいただきました。

＝事業費10万円（支払分担金10万円）、執行率99.0％／予算10万1,000円

（8）京都とっておきの芸術祭

（11月29～12月1日、日図デザイン博物館・京都市左京区）



障害のある人の芸術文化活動の可能性を切り開き、社会参加を促進するため、京都府、京都市、京都府身体障害者団体連合会などと実行委員会をつくり11月29日（金）～12月1日（日）に開催しました。当年度も公募で寄せられた障害のある人やグループの絵画や陶芸、写真、書、俳句、川柳、工芸の7部門、762作品（前年度758作品）の展示のほか、さをり織り体験のワークショップや「障害者週間」啓発ポスターコンクール作品の展示などを行いました。来場者は2293人（同2505人）でした。

＝事業費20万330円（支払分担金20万円）、執行率99.7％／予算20万1,000円

（9）第20回京都手話フェスティバル

YouTube動画▶



（2025年2月23日、京都新聞文化ホール・京都市中京区）



手話の普及と発展を図るため、京都府聴覚障害者協会と共催で2月23日（日・祝）に開き、約350人が参加しました。メインの手話スピーチコンテストは、一般の部は10人と1グループ（13人）、高校生の部は3人、子どもの部は8人（中学生2人、小学生6人）が出場しました。当年度は20回目の節目を迎え、会場内には20年間のあゆみの新聞記事を展示し、記念のクリアフォルダーを作成して配布しました。最優秀賞は、一般の部の英語教師でコーダと呼ばれるろう者の母をもつ生徒との出会いがきっかけで手話を学ぶ女性が、高校生の部は作業療法士を目指す夢を語る女子生徒が選ばれました。夫婦とも難聴で手話を習う88歳の男性が、100歳まで元気で手話を習い、いつまでも夫婦仲良く暮らしたいというスピーチに第20回特別賞が贈られました。アトラクションで登場したホワイトハンドコーラスNIPPON京都チームの子どもたちがパフォーマンスを披露し、子どもたちの繰り広げる明るく豊かな手歌や歌声で観覧者は笑みで溢れかえりました。

＝事業費20万2,180円（支払分担金20万円）、執行率99.6％／予算20万3,000円

(10) 滋賀県知的ハンディをもつ人の文化の集い

(11月22日、ひこね文化プラザ・グランドホール／彦根市)

滋賀県内の知的障害者関係施設の利用者の文化活動として、音楽、演劇などを鑑賞してもらうことを目的に滋賀県知的ハンディをもつ人の福祉協会の主催、事業団の共催で実施しています。コロナ禍の影響もあって5年ぶりの開催となり、11月22日（金）に滋賀県草津市を拠点に活動をする劇団ミュージカルパークによる「朗読音楽劇リトル・ツリー」の公演を実施し、9施設から約300人が参加しました。

＝事業費25万7,795円、執行率102.7％／予算25万1,000円



(11) 京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援

(6～9月、助成先61団)

障害のある人の活動の場を広げ、余暇の充実を図るため、障害者団体や支援グループなどが実施する宿泊を伴う、夏季のキャンプやレクリエーション活動に助成しています。今回で18回目となります。京都府、滋賀県で障害のある人たちの活動の場を広げ、余暇活動の充実と支援を目的とした団体が実施する宿泊を伴う、夏季のキャンプやレクリエーション活動に助成をしました。当年度は8団体（前年度8団体）から申請があり、障害のある人の参加人数や規模、過去の助成歴などをもとに選考し、対象外の1団体を除いた7団体に総額50万円（同50万円）を助成しました。障害のある子どもをもつ家族の交流を目的にした1泊2日の余暇活動や福祉事業所の障害のある利用者が中心となり、プログラムなどを計画・準備をして実施するキャンプなどに活用されました。

＝事業費50万5,058円、執行率99.8％／予算50万6,000円



2 高齢者のための事業

少子高齢化が進む中、高齢者が安心して暮らせる社会の実現に向けた支援が求められています。事業団では、高齢者の生活を支えるため、外出機会の創出、介護用車椅子の贈呈、在宅福祉支援など、さまざまな事業を行っています。

(1) 高齢者配食サービス支援(2025年1月、助成先62団)

1人暮らしの高齢者や高齢者世帯に配食する京都府、滋賀県のボランティアのグループや団体にお米を提供し、新年に食事を届けてもらう事業で、高齢者1人当たり1食分のおこめ券（150㌔相当）を贈りました。配食活動は、高齢者の話し相手になって孤立を防ぐとともに、生活状況を見守る活動になっています。当年度は、35団体（前年度34団体）から申請があり、32団体に助成しました。京都府内1,087食、京都市内665食、滋賀県内948食の計2,700食、419㌔分のおこめ券（券は1㌔単位で、申請㌔数の端数は切り上げ）を贈りました。総贈呈額は、20万9,500円です。

申請団体の減少により、次年度より休止とします。

＝事業費23万6,122円、執行率55.3％／予算42万7,000円



(2) 京都新聞おでかけ公演・高齢者団体

(2025年3月6日、向日市社会福祉協議会デイサービスセンター・向日市/7日、花友じゅらくだいデイサービス・京都市上京区)



京都府、滋賀県内の高齢者施設や高齢者団体のつどいなどを訪ね、日ごろ外出しにくい人たちに演奏会など公演(コンサート)をプレゼントする「おでかけ公演」を開催しました。公演は、NPO法人京都フィルハーモニー室内合奏団に所属するメンバー2人によるクラシック音楽や歌謡曲など約10曲とトークのデュオ演奏会で、3月6日(木)に向日市社会福祉協議会デイサービスセンターと、7日(金)に花友じゅらくだいデイサービスの2団体で行いました。

＝事業費17万2,730円、執行率86.4%/予算20万円

(3) 高齢者へのプレゼント (2025年2月、助成先63府)



特別養護老人ホームで介助用車いすが不足しているため、2008年度から京都府、滋賀県の全施設に1台ずつ贈ることを目標に実施しています。施設の開設年次や地域性などを考慮して、京都府1、京都市3、滋賀県3の計7施設に案内し、車いすは背もたれと座面の角度が調整できるティルト・リクライニング介助型とベッドからの移乗が便利な多機能介助型のどちらかを選んでもらいました。当年度は、各施設から希望があったティルト・リクライニング介助型の車いすを5台、多機能介助型2台を贈呈しました。総贈呈額は52万8,700円です。

贈呈した台数は、当年度を含めて299台になりました。

＝事業費53万450円、執行率84.6%/予算62万7,000円

(4) 在宅高齢者福祉サービス支援

ホームヘルプサービス活動に関する備品助成 (12月、助成先63～64府)



在宅高齢者の経済的負担の軽減や福祉サービス充実を目的に、ホームヘルプサービスを行う非営利の団体や事業所に福祉用具や介護用品の購入費を助成しています。当年度も感染防止のための用具用品も含めて受け付け、京都府11件、滋賀県9件の計20団体(前年度23団体)に総額138万8,406円(同139万607円)を助成しました。介護を受ける高齢者が準備しなければならない体温計や血圧計、移乗ボードやシート、感染対策用のマスクや使い捨て手袋などの購入に活用されました。

＝事業費140万8,688円、執行率100.6%/予算140万円

3 子どものための事業

子どもたちの健全な成長と明るい未来を支援するため、事業団では多彩な活動を展開しています。児童養護施設へのレクリエーション支援や卒業お祝い金の贈呈、交通遺児への支援、そして親子で楽しめるシアターの開催など、子どもたち一人ひとりの笑顔と希望を育む取り組みを行っています。これらの活動を通じて、子どもたちが安心して学び、遊び、成長できる環境づくりに努めています。

(1) 児童養護施設レクリエーション (9月～2025年3月、助成先64～65号)

京都府、滋賀県の児童養護施設のレクリエーション活動を支援するため、入所児童や生徒1人当たり2,700円と、引率費用として1施設2万円を支給しています。当年度は全17施設に、レクリエーション活動に参加した子どもたち585人分と引率費用の計191万9,500円を助成しました。活動終了後の報告書によると、施設の居住ユニットごとや年齢別の少グループでテーマパークや観光地へのおでかけや、施設内でのクリスマス会、おもちつきなどのレクリエーションに活用されました。助成金には、京都ゴルフ倶楽部が9月に開いているチャリティーゴルフ大会の寄付金など、児童養護施設・乳児院等の子どもたちのための事業寄付金と同事業基金資産を取り崩して充てました。



＝事業費192万2,178円、執行率85.8%／予算224万円

(2) 児童養護施設生徒卒業お祝い金 (2025年3月、助成先66号)

中学、高校の卒業とともに、京都府、滋賀県の児童養護施設を巣立つ子どもたちを対象に「卒業お祝い金」(中学卒業2万円、高校卒業4万円)を贈呈しています。当年度は16施設の中学卒業生4人(京都府4)、高校卒業生59人(京都府13、京都市32、滋賀県14)に計244万円を贈りました。全17施設のうち1施設は対象者がいませんでした。児童養護施設の高校生は卒業とともに自立しなくてはならないケースが多く、祝い金は就職や進学のための支度費用や生活必需品の購入費などに活用されています。



＝事業費246万433円、執行率97.6%／予算252万2,000円

(3) 交通遺児卒業お祝い (2025年3月)

京都府、滋賀県の小、中学、高校を卒業した交通遺児に「卒業お祝い」として図書カードを贈っています。図書カードは小学生5,000円、中学生7,000円、高校生1万円で、19回目の当年度は、京都府2人(小学生0、中学生1、高校生1)、京都市5人(小学生1、中学生1、高校生3)、滋賀県20人(小学生6、中学生7、高校生7)の計27人(前年度20人)に贈呈しました。京都府と京都市は府の交通遺児奨学金受給者を対象とし、滋賀県は県内の交通遺児が入会している公益財団法人おりづる会を通じて贈りました。



＝事業費21万2,020円、執行率90.2%／予算23万5,000円

(4) 京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都

(8月12日、京都市北文化会館・京都市北区)

子どもたちの健やかな成長を願い、親子のふれあいの機会を増やすことを目的に「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」を開催しました。従来は京都洛北ライオンズクラブとの共催で実施していましたが、当年度から事業団の単独主催となりました。8月12日(月・振休)に、宇治市を拠点に活動する人形劇団京芸による人形



劇「まねまねパピプ♪」と「うみぼうやとうみぼうず」を上演、児童養護施設の子どもや一般の親子約350人を招待し、交流を深めてもらいました。

＝事業費41万6,411円、執行率62.4％／予算66万7,000円

(5) 京都新聞お楽しみ子どもシアター in 滋賀（当年度休止）

 子どもたちの健やかな成長を願い、親子のふれあいの機会を増やすことを目的に人形劇やコンサートに一般公募の親子や児童養護施設の子どもたちを招待しています。前年度まで、京都・滋賀の2カ所で「京都新聞お楽しみ子どもシアター」を開催していましたが、当年度より京都府内もしくは滋賀県内のいずれか1カ所で開催することにし、当年度は京都のみの開催としました。次年度は、滋賀県内で開催をする予定です。

＝事業費0円、執行率0％／予算66万5,500円

4 子育て応援事業

子どもたちの健やかな成長と、子育て中の保護者の皆様を支援するため、二つの助成事業を展開しています。



(1) 京都新聞子育て仲間を応援（7月、助成先67～68号）

 子育て中のお母さん、お父さんの団体や支援団体に一律2万円を助成しています。小規模なグループ、サークルにも門戸を開いている、他に例のない事業です。当年度は、84団体(前年度86団体)から申請があり、活動内容や実績を審査して、80団体（京都府34団体、京都市15団体、滋賀県31団体）に総額160万円（同82団体、164万円）を助成しました。子育ての交流会や勉強会、季節の行事などに活用されました。

＝事業費165万7,951円、執行率88.7％／予算187万円

(2) 京都新聞子育て事業助成（7月、助成先69号）

 子育て団体や子育て支援団体が実施する事業に、15万円を上限に助成しています。当年度は17件（前年度24件）の申請があり、13件(京都府4、京都市4、滋賀県5件)に総額83万8,000円(同13件、83万5,000円)を助成しました。子どもを対象にしたキャンプ事業や文化体験事業、親子でミュージカル、お話会や音楽会、親子体験型の避難ゲーム、映画上映会、人形劇などの事業に活用されました。

＝事業費83万9,428円、執行率98.8％／予算85万円

5 福祉活動支援事業

京都新聞福祉活動支援（2025年2～3月、助成先69～71号）

 京都府、滋賀県の福祉団体を対象に、運営と設備整備に幅広く助成する事業です。事業団設立以来、名称は変化しているものの毎年実施してきました。当年度

は、企業から「障害のある人のため」にと寄せられた寄付金をもとに、事業団設立60周年を記念して障害のある人の支援団体や当事者団体を対象に100万円を5団体に助成する特別枠（運営・設備）と、従来の上限50万円までを助成する通常枠（運営・設備）の両部門で申請を受け付けました。特別枠の運営部門に3件、設備部門に6件の計9件、通常枠の運営に21件、設備に14件の計35件（前年度44件）の申請があり、2月14日（金）に選考委員会（委員名簿・資料74㌔）を開いて、特別枠・運営2件（京都市2件）、設備3件（京都府2件、京都市1件）の計5件に500万円、通常枠の運営16件（京都市12件、滋賀県4件）に計255万円、設備7件（京都府4件、京都市1件、滋賀県2件）に計245万円の総計28件に総額1,000万円を助成することを決めました。3月27日（木）に京都新聞ビル会議室で贈呈式を行いました。運営部門は、高齢者や難病患者、不登校の子どもたちの支援を行う団体の活動費に、設備部門は、障害者施設の老朽化したエレベーターの修理費の一部や冷蔵冷凍庫の買い替え、エアコン設置の購入費などを支援しました。

＝事業費1,006万730円、執行率99.9％／予算1,007万1,000円

6 奨学金支給事業

「京都新聞愛の奨学金」贈呈（4～7月、申請者・支給者数 資料74㌔）

事業団設立の1965年から継続して実施している重点的事業の一つです。京都府、滋賀県に生活拠点を置く高校生や大学生、専門学校生らを対象に返済不要の奨学金を支給しています。支給額は、高校生に年額9万円、大学生・専門学校生に同18万円、児童養護施設全高校生に奨学激励金3万円で、公募の一般の部と交通遺児の部、公立高校推薦の定時制・通信制高校生の部、児童養護施設高校生の4部門を実施しています。さまざまな事情で学費の捻出が困難な向学心のある高校生、大学生・専門学校生らを対象に「愛の奨学金」の申請を受け付け、一般の部には高校生176人、大学生・専門学校生224人の計400人（前年度420人）、交通遺児の部には高校生6人、大学生6人の計12人（同10人）から申請がありました。選考委員会（委員名簿・資料74㌔）を6月11日（火）に開き、一般の部で189人（高校生84人、大学生・専門学校生105人）、交通遺児の部12人（高校生6人、大学生6人）への支給を決めました。定時制・通信制高校生の部の10人と児童養護施設全高校生145人を含めると、総計356人に3,333万円（同407人、3,921万円）を贈呈することになりました。一般、交通遺児、定時制・通信制高校生の3部門の贈呈式を7月6日（土）に京都新聞文化ホールで2回に分けて行い、本人に奨学金を直接手渡しました。児童養護施設高校生への奨学激励金は、7月19日（金）に京都新聞ビル会議室で施設代表者らに託して、施設ごとに贈呈していただきました。その後、一般の部の高校生1人が退学されたため、在学期間を除いた6カ月の奨学金4万5,000円の返金があり、支給総額は3,328万5,000円となりました。

＝事業費3,353万1467円、執行率94.9％／予算3,532万円



7 福祉啓発活動事業

(1) 京都新聞 朝刊「福祉のページ」編集（通年）

京都新聞を母体とする事業団にとって、新聞紙面を通じた福祉啓発や福祉情報の提供は根幹事業の一つです。当年度も京都新聞「福祉のページ」（原則月曜日付朝刊）の制作に力を入れました。コラム「暖流」では、平等院住職の神居文彰さん、イラストレーター・こどもみらい館館長の永田萌さん、精神科医の高木俊介さん、真宗大谷派僧侶の川村妙慶さんら多彩な8人の執筆陣に、地域福祉の課題や論点などを多角的に掘り下げてもらいました。また、福祉施設で働く若手職員を紹介し、福祉施設で働くことの魅力を伝える新企画「若葉」のほか、福祉の担い手に聞く「わたしの現場」や地域福祉の広がりを紹介する「広がる一地域の輪」、事業団活動の報告「ともに生きる」などを京都新聞OB記者の取材、執筆で週替わりに掲載しました。毎週の「ふれあい広場」では、京都、滋賀の福祉イベントや交流会などの情報を提供しました。

＝事業費366万1,564円、執行率92.4％／予算396万3,000円

(2) ホームページ「ともに生きる」制作（通年）

インターネットで京都新聞「福祉のページ」と連動させながら、事業団の活動や助成事業をタイムリーに紹介しています。事業団設立60周年を記念して、2024年10月にホームページとモバ

イルサイトを全面刷新しました。同時にSNSのX(旧Twitter)のアカウントも開設しました。また、電子決済での寄付受け付けを開始し、「善意の小箱」「誕生日おめでとう」「記念日おめでとう」「歳末ふれあい募金」などの申し込みができるようになりました。各事業ごとの特集ページを設け、奨学金や助成事業の実施概要や申請用紙をダウンロードや、事業によっては参加申し込みが直接できるようになり、利用者の利便性を高めました。福祉活動に関する情報発信を一層強化することで、幅広い層へ寄付文化の醸成を図ってまいります。

＝事業費453万7,112円、執行率104.1％／予算436万円



(3) 「京都新聞福祉賞」「京都新聞福祉奨励賞」贈呈（9月～2025年1月）

京都府、滋賀県で地域福祉の向上に著しい功績のあった個人または団体に「京都新聞福祉賞」、今後の活動が期待できる活動歴が浅い、または若い世代の個人や団体に「京都新聞福祉奨励賞」を贈り顕彰しています。今年で60年目を迎えました。前年度までは事業団の単独主催としていましたが、当年度より京都新聞との連名主催とし、京都新聞グループ全体で支える新たな形で再出発しました。両府県内の福祉団体などに推薦を募ったところ、福祉賞に19件、福祉奨励賞に10件の推薦が寄せられました。選考委員会（委員名簿・資料74頁）を12月4日（水）に開き、福祉賞に2件（1個人1団体）、福祉奨励賞に3件（3団体）の贈呈を決めました。福祉賞は、共働きやひとり親家庭、生活保護世帯などの子どもたちの支援に携わる花園教会水族館館長で、「NCMジャ



パン」京都事務所代表の篠澤俊一郎さん（当時44歳）＝京都市右京区＝と、24時間体制で孤独や不安を抱える相談者への傾聴に長年取り組む「京都いのちの電話」＝京都市内＝に。福祉奨励賞は、レモネード販売を通して小児がん患者を支援する「レモネードスタンドPhilia（フィリア）」＝上京区＝、ひきこもりや就労の課題解決への支援に当たる「コミュニティー・スペースsaculala」＝西京区＝、不登校の児童・生徒が安心して過ごせる居場所づくりに尽力する「Reframe（リフレイム）」＝中京区＝で、贈呈式を2025年1月27日（月）に京都新聞文化ホールで行い、大西祐資理事長から表彰状と副賞（福祉賞＝個人20万円、団体30万円、福祉奨励賞＝10万円）を贈りました。

＝事業費114万9,553円、執行率101.0％／予算113万8,000円

（４）募金啓発事業（通年）

当年度より、クリスタル製の「感謝の盾」を制作し、長年にわたって継続的にご寄付をいただいている方や、高額寄付者の皆さま、事業パートナーの団体などへ贈呈しています。当年度は、3団体に贈呈を行いました。

また、「愛の奨学金」では、奨学生による「寄付者への感謝の言葉」をまとめたダイジェスト版（A4判・両面）および、全奨学生のメッセージを掲載した冊子版（高校生編・大学生版の2冊）を作成し、寄付者の皆さまに機会を捉えてお届けしています。

更に、事業団の活動内容や寄付金の使途・成果をわかりやすく紹介する「活動パンフレット」を作成し、寄付者の皆さまへの配布を行うとともに、全面刷新したホームページおよびモバイルサイトからもダウンロードできるようにしました。

広報活動の一環として、当年度は事業団設立60周年を記念したロゴをあしらったバックパネルを制作し、寄付金の受け取りや助成事業の贈呈式など、さまざまな場面で活用しました。

記事掲載なども通じて、事業団の認知度向上に資するツールとして有効に機能しました。次年度からは、周年ロゴを外した新デザインのバックパネルに切り替えて運用します。

なお、こうした広報・啓発活動を支える事業費の大半は、募金活動の呼びかけに関連する印刷物の制作費です。「歳末ふれあい募金」では新聞折り込みチラシ32万枚、郵送用チラシ1万4,000枚、金融機関に配置する振込用紙1万枚を作成しました。

＝事業費235万6,454円、執行率94.3％／予算250万円

8 ボランティア活動支援事業

京都新聞福祉ボランティアグループ「KOTOKOTO」活動（通年）

事業団設立60周年を機に10月に名称を「KOTOKOTO」に改め、ボランティアの育成、活動を支援しています。当年度は、9月7日（土）～8日（日）の「みんなで海釣り－障害のある人の体験講座」では、障害のある参加者の介助や

中期行動計画
7～9頁
参照

中期行動計画
3頁
参照



支援、8月12日（月・振休）の「京都新聞お楽しみ子どもシアター in 京都」や2025年2月23日（日）

の「京都手話フェスティバル」、3月29日（土）の

「ともに生きる」フォーラムでは、会場準備や参加者の受け付け、誘導などの運営補助を行いました。当年度末の登録者は8人。

＝事業費6,540円、執行率6.5％／予算10万円

KOTOKOTO

京都新聞社会福祉事業団ボランティアチーム

9 その他の福祉事業

（1）後援・後援助成事業（通年、助成先72～73号）



福祉関連の催しやイベントなどを支援する事業で、事業団の名義使用を認める「後援」と10万円を上限に助成する「後援助成」を行っています。当年度の「後援」申請は49件（前年度60件）あり、申請のあった全件を認めました。「後援助成」申請は71件（同61件）あり、そのうち61件に総額143万5,000円（同56件、146万5,000円）を助成しました。残る10件のうち7件は名義後援とし、大雨で事業中止が1件、あとの2件は認定しませんでした。当年度の助成は、障害者団体が実施する講演会やスポーツ大会、ひとり親家庭の交流事業などでした。

＝事業費145万3,041円、執行率90.8％／予算160万円

（2）「ともに生きる」事業「ともに生きる」フォーラム

（2025年3月29日、京都新聞文化ホール・京都市中京区）



事業団設立50周年を記念して始めたフォーラムで、メインテーマである「ともに生きる」を事業名に、一人一人の命を大切に、みんなが助け合って生きる社会について考える機会にと、京都新聞「福祉のページ」のコラム執筆者らを講師に迎えて開催しています。当年度は2025年3月29日（土）に開催しました。第1部では、2024年4月より「暖流」を執筆していただいているイラストレーターでこどもみらい館館長の永田萌さんに「ふれあう手とかさなる手」と題して、人と人とのふれあいの大切さについて、ご自身の作品を使いながら講演していただきました。第2部では、フルート奏者の園城三花さんを中心に活動する「園城三花カルテット」の皆さんにクラシックの名曲などを演奏していただきました。第3部では、永田萌さんと園城三花さんによるトークセッションをしていただきました。当日は約200人の参加があり、閉会后 参加者がお帰りの際に、事業団が助成事業で支援した障害者支援事業所の取り組みを応援するために、障害のある人たちが作ったお菓子を配りました。

＝事業費23万4,366円、執行率67.0％／予算35万円

（3）災害見舞金・救援金

① 災害救援金

42～43号の⑦災害救援寄付金の項と重複するため省略します。

＝（災害救援金）事業費2,268万2,660円、執行率756.1％／予算300万円

② 災害見舞金

2025年2月4日（火）・5日（水）に「能登半島地震」「能登豪雨」の被災地である石川県庁と輪島市を訪問し、避難所や仮設住宅を視察しました。その際、避難所職員の方から、コーヒードリップパックやティーパックが不足しているとの声を伺いました。これを受け、災害見舞金30万円を活用し、輪島市役所 支援調整窓口を通じてコーヒードリップパックを寄贈しました。商品は、輪島市内の避難所、仮設住宅、在宅避難の被災者に届けられます。

購入したのは、京都と輪島の障害者支援事業所が製造された以下の商品です。

①一般社団法人 暮らしランプ（京都府長岡京市）

2023年度「工賃増助成」により、製造備品の購入費37万円を助成しました。

コーヒードリップパック（1個200円）750個を購入し、事業所からの寄贈分50個を加え800個を輪島市へ寄贈。

②特定非営利活動法人 あすなるふたばパインの会（石川県輪島市）

被災により焙煎機が損傷するも、製造を再開。コーヒードリップパック（1個150円）1,000個を5回に分け、輪島市役所へ納品予定。

4月22日（火）に、輪島市支援調整窓口の担当者から、避難所で配布された際の写真が届きました。輪島市の避難所は、仮設住宅への入居や自宅の修繕がある程度進んだため、2025年4月13日



（日）をもってすべて閉鎖されましたが、現在も被災者支援プログラムの一環として、孤立防止や地域のつながりを保つ「サロン活動」が展開されています。寄贈したコーヒードリップパックは、こうした交流の場でも活用される予定です。

＝（災害見舞金）事業費30万円、執行率100％／予算30万円

（4）経済環境急変時緊急支援

急激な経済環境の変化や不況の深刻化により、福祉施設や作業所の運営が危機に瀕した際に、緊急支援を行います。

支援対象の施設には、具体的な用途を明示してもらい、厳正な審査のうえで支援を決定します。当年度は該当事案件がなく執行しませんでした。

10 チャリティー事業

京都新聞チャリティー美術作品展（8月～2025年1月）



36～37頁の③京都新聞チャリティー美術作品展の項と重複するため省略します。

＝事業費1,885万8,885円、執行率101.9％／予算1,850万円

以上

ともに生きる

雪 抗迫柏樹

2024年度事業報告の附属明細書

2024年度「工賃増へ向けての取り組み助成」助成団体一覧

(単位：円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人フォーラムひこばえ 就労支援事業所ひこばえ	京都市 右京区	【設備整備費】カフェ改修後に、飲み物中心のメニューから軽食や喫茶メニューに増やすためのウォーターオープンの購入費	150,000
2	一般社団法人 実のなる樹うさぎりんご	中京区	【設備整備費】袋を綴じるために使用しているシーラーは、旧式で業務効率が大幅に落ちているため、高性能なシーラーの購入費	230,000
3	社会福祉法人 京都障害者福祉センター 京都市やましな学園	山科区	【設備整備費】①菓子加工作業の利用者のスキルアップをめざすためのシーラー購入費②出張販売などで、イーゼルやテーブルクロス、飾り棚の購入費	80,000
4	指定障害者福祉サービス 就労継続B型事業所 つくしハウス	上京区	【設備整備費】きょうされんの販売事業に独自商品を組み合わせる取り組み、収入が少ない利用者にボーナスを支給するための専用パソコン購入費	150,000
5	社会福祉法人 伏見ふれあい福祉会 京都ふれあい工房	伏見区	【新商品の開発】ケーキ部門で成型、焼き上げ、シーラーを使っの袋詰めなどに使用する新しい包材のリニューアル費	40,000
6	カラフルラット 就労継続支援B型事業所	南区	【設備整備費】自主製品雑貨販売の革製品の縫いやカット、シールやステッカーなどの商品生産性を高めるために使用するミシンとプロッターの購入費	230,000
7	社会福祉法人 宇治東福祉会 宇治作業所のびのび	京都府 宇治市	【設備整備費】シーツ等の洗濯を行っている。大きなシーツのため一度に洗濯機1台で洗える枚数に限りがあり、新しい洗濯機の購入費	100,000
8	社会福祉法人 綾部福祉会ともの家	綾部市	【設備整備費】おにぎり、ピザを販売している。温かい商品を望む声があり、ニーズに合わせて提供するためのポータブル電源セットの購入費	280,000
9	社会福祉法人パレット・ミル 自立就労センター	滋賀県 栗東市	【設備整備費】請け負っている除草作業は、休耕地が増え、作業依頼は増える一方で、利用者に容易に操作できる安全で効率の良い草刈機の購入費	300,000
10	一般社団法人アウン B型支援事業所カイコウM	大津市	【設備整備費】ドリップコーヒーの製作を行っており、利用者が容易に使える自動圧着が可能な脱気ガス充填シーラー設備一式の購入費	300,000
11	一般社団法人このゆびとまれ 自立訓練事業所かけはし	高島市	【設備整備費】新たに地域密着型の活動に取り組むため、ドリップコーヒーの受注販売の施行を開始。コーヒー製品の品質向上を目指すための設備品購入費	140,000

合 計 2,000,000

2024年度「京都新聞夏季キャンプ・レク活動を応援」助成団体一覧

(単位：円)

No	団体名	地域	参加人数	内容	助成額
1	就労継続支援B型事業所 西陣工房	京都市 北区	25	夜行バスで京都を出発し、東京ディズニーランドや東京スカイツリーなどを散策、全国障害者総合福祉センター戸山サンライズ泊。国会議事堂を見学する2泊3日の研修旅行	70,000
2	空の鳥 家族交流会	伏見区	150	滋賀県高島市のびわ湖こどもの国で、家族同士の交流を通じて悩み事を相談しあえるような絆を築くことを目的に、飯ごう炊さんやキャンプファイヤーなど。同志社びわこリトリートセンターで宿泊する1泊2日のキャンプ	100,000
3	認定特定非営利活動法人 京都DARC	伏見区	21	南丹市日吉町のひよしフォレストリゾートで、バーベキューや星空観察などを行い仲間との交流を深める1泊2日のキャンプ	60,000
4	エイブル・パフォーマンス 集団「ガラ(柄)」	伏見区	12	大阪南港から新造船の夜行フェリーを利用し、門司湊レトロ・ミュージアムを楽しむ往復船中泊の3日のツアー。船舶の利用時に同船のバリアフリー設備のチェックを当事者目線で行う	50,000
5	山科タンタン おもちゃライブラリー	山科区	30	滋賀県大津市の白汀苑で、障害のある子どもや家族、ボランティアらとの交流を目的に、湖水浴を中心とした1泊2日のキャンプ	70,000
6	社会福祉法人 共生シンフォニー くれおカレッジ	滋賀県 大津市	18	滋賀県竜王町の妹尾の里で、施設利用者が生活訓練の一環として企画したバーベキューやレクリエーションなどを楽しむ1泊2日のキャンプ	70,000
7	かいつぶりの会	彦根市	71	滋賀県長浜市の長浜バイオ大学ドーム宿泊研修館で、障害児・者の運動発達援助として心理リハビリテーションの技法を導入した2泊3日の動作学習キャンプ。専門講師の指導による集団集中訓練	80,000
合 計			327	合 計	500,000

2024年度 「配食サービス支援」 贈呈団体一覧

No	団体名	対象人数	地域
1	京都生協「くらしの助け合いの会」配食グループ	110	京都市北区
2	鳳徳ボランティアサークル	120	
3	下鴨学区社会福祉協議会	55	左京区
4	常盤野社会福祉協議会ボランティア部	310	右京区
5	嵐山東社会福祉協議会いきいきボランティア	70	西京区
6	漁火会	68	宮津市
7	西小倉地区社会福祉協議会	90	宇治市
8	大久保学区福祉委員会	33	
9	向日地区社会福祉協議会	60	向日市
10	森本地区社会福祉協議会	170	
11	配食サービス ぶどうの会	48	八幡市
12	八幡市社会福祉協議会	42	
13	給食調理ボランティアグループあじさい	180	京田辺市
14	木津川市社会福祉協議会加茂支所	111	木津川市
15	ほのぼの会	100	
16	調理ボランティア「プチトマト」	150	京都府 与謝野町
17	たんぼぼ会	35	
18	大津市瀬田東学区社会福祉協議会ふれあい給食	93	大津市
19	葛川学区社会福祉協議会	30	
20	晴嵐学区社会福祉協議会	100	大津市
21	大津市逢坂学区社会福祉協議会	44	
22	大津市仰木の里学区社会福祉協議会	25	大津市
23	膳所学区健康推進協議会	70	
24	瀬田南学区社会福祉協議会ふれあい給食サービス委員会	151	大津市
25	堅田学区社会福祉協議会	82	
26	平野学区社会福祉協議会	75	大津市
27	市辺地区社会福祉協議会	28	
28	南部地区社会福祉協議会	40	大津市
29	八日市地区社会福祉協議会 給食ボランティア	115	
30	平田地区社会福祉協議会	10	東近江市
31	愛東地区社会福祉協議会	30	
32	御園地区社会福祉協議会	55	東近江市
総贈呈額 209,500円		合 計	2700 人分

2024年度「高齢者へのプレゼント」 介助用車いす贈呈 団体一覧

No	特別養護老人ホーム名	地域	内容	台数
1	マ・ルート	京都府宮津市	ティルト・リクライニング介助型	1
2	鳥羽ホーム	京都市南区	多機能介助型	1
3	まどかⅡ番館	伏見区	多機能介助型	1
4	すばる醍醐	伏見区	ティルト・リクライニング介助型	1
5	あじさいの郷	滋賀県長浜市	ティルト・リクライニング介助型	1
6	南天	大津市	ティルト・リクライニング介助型	1
7	えんゆうの郷	草津市	ティルト・リクライニング介助型	1
総贈呈額 528,700円			合 計	7

2024年度在宅福祉サービス支援

「ホームヘルプサービス活動に関する備品助成」 助成団体一覧

(単位：円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人コミュニティCASA ケア・サービス青葉	京都府宇治市	マスク100個、手袋100個	84,700
2	社会福祉法人 亀岡市社会福祉協議会 ホームヘルプセンター	亀岡市	トランスファーシート Mサイズ 5個、SOEL ケアグローブ 10個、体温計 7個	72,875
3	社会福祉法人向日春秋会 訪問介護ステーション サンフラワー	向日市	非接触式体温計5個	17,350
4	社会福祉法人未生会 ラポール介護ステーション	南丹市	計量ベアリングモジュール車いす2台	70,978
5	社会福祉法人あしぎぬ福祉会 訪問介護 満寿園	京丹後市	電子体温計(腋下用)15個	37,950
6	NPO法人 在宅生活応援団ふぁいと 訪問介護事業所ふぁいと	南丹市	マスク 50枚入20個、手袋 100枚入20個、消毒液(携帯用)10本、消毒液(詰め替え用)3本	54,802
7	社会福祉法人 大山崎町社会福祉協議会 ホームヘルプセンター	京都府大山崎町	プラスチック手袋100枚入18ケース、サージカルマスク50枚入4ケース	100,000
8	社会福祉法人八康会 ヘルパーステーション楽生苑	久御山町	ビブスコールSH 5L(消毒液)9個	100,000
9	社会福祉法人長楽会 宇治田原町在宅介護 支援センター	宇治田原町	非接触体温計3個、手首式血圧計2個、NEWリック&トート大容量訪問バッグ 6個	57,068
10	NPO法人 まごころサービスあい愛	京丹波町	ゴム手袋 Sサイズ、Lサイズ 各5箱、電子体温計5個	44,150
11	社会福祉法人北星会 与謝の園訪問介護事業所	与謝野町	非接触体温計5個、デジタル自動血圧計5個、使い捨て洗髪用具(汚水袋付)20個、使い捨て洗髪用具(汚水袋無) 20個	74,910

12	社会福祉法人湖青福祉会 ケアタウンからさき ヘルパーステーション	滋賀県 大津市	マスク(2000枚)2個、PVCグローブ Mサイズ (2000枚)2個、 PVCグローブ Lサイズ (2000枚)2個、袖付きデイスパイク (150枚) 2個	72,160
13	社会福祉法人千歳会 訪問介護事業所	彦根市	ゴム手袋M100個、ゴム手袋L100個	56,000
14	社会福祉法人芳醇会 ケアステーションかけはし		非接触体温計12個、プラスチック手袋70箱	84,440
15	社会福祉法人青祥会 アンタレスホームヘルパー ステーション	長浜市	洗髪器サッパリさん3個、電子体温計13個	98,150
16	社会福祉法人 近江八幡市社会福祉協議会 ヘルパーステーションあづち	近江八幡市	ウイング・スイングアウト介助式 1 台	45,700
17	NPO法人 ふれあいセンターそよ風 訪問介護事業所大空	湖南市	移乗ボード M1個、移乗ボード L1個、移乗シートM1個、移 乗シートL1個	86,405
18	社会福祉法人近江ちいさな ぼだいじホームヘルパー ステーション		トランスファーシートMサイズ 10個、イージークライド Sサイズ 1個、電子 体温計10個、シャワーネットモイスト1個、手首式血圧計1個	100,000
19	社会福祉法人甲南会 せせらぎ苑訪問介護サービス	甲賀市	血圧計(手首)2個、非接触体温計4個、パルスオキシメーター1 個、レインボウチョ1個	63,778
20	社会福祉法人甲賀市社会福祉 協議会 ヘルパーステーショ ンみなくち		非接触型体温計4本、入浴介助グローブ Mサイズ 5個、移 座えもんグローブ (2枚入)4個	66,990
合 計				1,388,406

2024年度「児童養護施設レクリエーション」助成先一覧

(単位：円)

No	施設名	地域	参加児童人数	内容（行先や活動内容）	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	25	福井県立恐竜博物館、アンパンマンこどもミュージアム・都市型水族館átoa、エキスポシティVSPARK、ラウンドワンと福知山温泉など4グループで実施	87,500
2	舞鶴双葉寮		35	全員でニフレル訪問。動物園とエキスポシティをグループに分かれて散策	114,500
3	青葉学園	亀岡市	31	1棟は棟内でクリスマス会、4棟は外食でクリスマス会を行い5グループに分かれて実施	103,700
4	てらす峰夢	京丹後市	18	映画鑑賞、アミューズメント体験、レンタサイクルで寺社仏閣巡り、城崎マリンワールドとアジ釣り、あそVIVAなど6グループで実施	68,600
5	京都大和の家	精華町	34	福井観光・越前松島水族館、三重観光、香川観光、三重観光・鳥羽水族館、愛知観光・名古屋港水族館、大阪観光・天王寺動物園など6グループで実施	111,800

6	京都聖嬰会	京都市 北区	37	滋賀県こども博物館、カップヌードルミュージアム、 市内観光、神戸フルーツフラワーパーク、神戸ハーバ ーランド、外食など6グループで実施	119,900
7	和敬学園	上京区	36	USJ（3グループ）、ナガシマスパーランド（2グルー プ）など5グループで実施	117,200
8	迦陵園	左京区	29	岡山県津山市宿泊旅行、ひらかたパーク、映画鑑賞、 京都水族館、外食など5グループで実施	98,300
9	平安養育院	東山区	47	クリスマス会（12/24実施）、新年会（1/1～3実施） を実施	146,900
10	つばさ園	西京区	52	グランスノー奥伊吹で雪遊びやスノボ、福井観光・東 尋坊、てんとう虫パーク、鈴鹿サーキット、京都水族 館、高雄パークウェイでBBQ、ラウンドワン、ナガシ マスパーランドなど9グループで実施	160,400
11	積慶園		50	USJ、鈴鹿サーキット、ロゴスランド、伊勢シーパラ ダイス、和歌山観光、大阪観光など7グループで実施	155,000
12	平安徳義会養護園		36	ニフレルで魚の観察や生き物のふれあいゾーンを体験 （幼児）、ボウリング（小学生～高校生で9班に分か れて実施）	117,200
13	桃山学園	伏見区	26	クリスマス会（12/24実施）、年始に映画と外食 （1/2、3実施）を全員参加で実施	90,200
14	湘南学園	滋賀県 大津市	23	ひらかたパーク、キッザニア甲子園、信楽陶苑たぬき 村陶芸体験、びわこ地球市民の森、湖南アルプス山登 り、映画鑑賞など少人数のグループで実施	82,100
15	小鳩の家		41	カップヌードルミュージアムと大阪市科学館、キッズ ランドUS、銅鐸博物館、ラウンドワン、温泉、京都 散策、映画鑑賞、カラオケなど少人数で実施	130,700
16	守山学園	守山市	30	富士急ハイランド、ニジゲンノモリとイングランドの 丘、神戸観光、ナガシマスパーランドと四日市市立博 物館などホーム別で実施	101,000
17	鹿深の家	甲賀市	35	京都散策、京都スイーツパラダイス、信楽ろくろ体 験、彦根城下町散策、ラウンドワン浜大津、ショッピ ング、外食など少人数で実施	114,500
合 計			585	合 計	1,919,500

2024年度「児童養護施設生徒卒業お祝い金」贈呈先一覧

(単位：円)

No	施設名	地域	中学卒業人数	高校卒業人数	助成額
1	舞鶴学園	京都府 舞鶴市	2	3	160,000
2	舞鶴双葉寮		1	4	180,000
3	青葉学園	亀岡市	0	4	160,000
4	てらす峰夢	京丹後市	0	0	0
5	京都大和の家	精華町	1	2	100,000
6	京都聖嬰会	京都市北区	0	4	160,000
7	和敬学園	上京区	0	1	40,000
8	迦陵園	左京区	0	4	160,000
9	平安養育院	東山区	0	4	160,000
10	つばさ園		0	8	320,000
11	積慶園	西京区	0	3	120,000
12	平安徳義会養護園		0	3	120,000
13	桃山学園	伏見区	0	5	200,000
14	湘南学園	滋賀県 大津市	0	1	40,000
15	小鳩の家		0	5	200,000
16	守山学園	守山市	0	5	200,000
17	鹿深の家	甲賀市	0	3	120,000
合 計			4	59	2,440,000

※№4の1施設は該当者なし

2024年度 「京都新聞子育て仲間を応援」助成団体一覧

No	団体名	地域
1	石原ママサークル いいともさ	京都府 福知山市
2	石原子育てサロン 親子わいわい広場	
3	御蔵山どんどん文庫	宇治市
4	子育て支援「ミミちゃんフレンド」	
5	ポヨポヨキッズ	宮津市
6	あそぼ	
7	いちばん星	
8	子育てサロン ひかり	
9	吉津子育てサロン「ちえのわ」	城陽市
10	ママ工房J40	
11	子育て洛西口	向日市
12	イトーピア文庫	
13	DONALD	京田辺市
14	mamaMUSE	
15	京田辺子育て応援隊はいはい	
16	子育てサークル「ちびミッフィー」	
17	京田辺子育て支援者ネットワーク「おててつないで」	
18	育児サークル P o o h	
19	育児サークル 松ぼっくり	南丹市
20	読みかたりユニット おおきな木	
21	スマイルプレイス (for every child & parent)	大山崎町
22	子育てサークル さんさん会	井手町
23	桜が丘一丁目育児サークル さくらっこ	精華町
24	桜が丘四丁目育児サークル 子育て広場	
25	どろんこクラブ	
26	育児支援サークル あゆみちゃん	
27	光台八丁目育児サークル8(はっち)	
28	光台九丁目育児サークル 9ぴーちゃん	
29	精華台三丁目育児サークル かたつむり	
30	精華台五丁目育児サークル ごきげんよう	
31	精華台四丁目育児サークル すとろべりい	
32	南区育児サークル「ミックスジュース」	
33	せいか食育劇団もぐもぐ	与謝野町
34	ゆるり会	
35	newbie. 0歳からの親子ふれあい英語	京都市 北区
36	楽只学区子育てサロンラッコひろば	
37	歌声サークルたう♪たう♪ファミリー♪	中京区
38	わくわくほっぺ	下京区
39	子育てサークル やんちゃあず	南区
40	子育てボランティアさくら会	左京区
41	山科子育て応援団	山科区
42	このはな文庫	右京区
43	梅津・北梅津地域子育てサロン「ちょっと来てみませんか」	

44	わたぼうし文庫	右京区
45	たんぽぽ文庫	
46	ゆらんこおもちゃライブラリー	西京区
47	小栗栖むりょう塾	伏見区
48	ひとつながり	
49	t e t o t e t o	
50	ほっこりハウス☆住人十彩	滋賀県 大津市
51	あいあい文庫	
52	子育てサークル「ちびーず」	長浜市
53	スマイルキッズ	
54	まるえこ	近江八幡市
55	こねこねこ	
56	常盤子育てサロンひまわり	
57	子育て支援グループはな・はな	
58	おやこダンスカンパニー チチカカコ	
59	EママSalon	
60	つながる	
61	草津てるてるクラブ・タッチ	草津市
62	ママとキッズのコーラス隊COLORS	
63	子育てサロン「コスモスの会」	
64	たすけ愛隊 「ママの手」	
65	mama link salon	野洲市
66	子育てサークル MANI MANI KIDS	米原市
67	MANI MANI	
68	おにぎりサークル	
69	おはなしボランティアと芸術の会	
70	伊吹仲良しかい	
71	ちびパーク	東近江市
72	子育てサークル「ぽっぷ八日市」	
73	遊びにおいでよ「なんぶっ子」	
74	御園ちびっ子サークル	
75	市辺キッズ	
76	紙芝居サークルてんとうむし	
77	おはなしマーガレット	
78	Happy Landサークル	
79	ひまわりおはなし会	日野町
80	子育てサロン さくらっこ	

助成額は1団体あたり20,000円、合計80件に1,600,000円助成

2024年度 「京都新聞子育て事業助成」助成団体一覧

(単位:円)

No	団体名	地域	助成額
1	fam farm	京都府京田辺市	100,000
2	京都家庭文庫地域文庫連絡会		50,000
3	NPO法人夢街道国際交流子ども館	木津川市	80,000
4	子育てママのつながるBOSA I		65,000
5	NPO法人冒険キャンプ実行委員会	京都市下京区	100,000
6	京都おもちゃライブラリー連絡協議会	左京区	38,000
7	空き家バンク京都子ども食堂	南区	100,000
8	ことえほん	山科区	50,000
9	逢坂Smile door子ども食堂	滋賀県大津市	90,000
10	子育て広場スキップ	長浜市	30,000
11	認定NPO法人くさつ未来プロジェクト	草津市	70,000
12	テラスONE	高島市	50,000
13	必佐地区社会福祉協議会 必佐子育てひろば	日野町	15,000
合 計			838,000

2024年度 「京都新聞福祉活動支援」助成団体一覧

【特別枠・運営助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	公益社団法人 京都市身体障害者団体連合会	京都市 中京区	障害者施設や団体の授産製品の販売やパフォーマンスを通じて障害のある人を身近で感じ、知ってもらいイベントの運営費	1,000,000
2	NPO法人 Reframe	中京区	発達障害、軽度知的障害などの障害がある不登校や行きしぶり状態にある小中高生が社会性や協調性を学ぶための校外授業の活動費	1,000,000
小 計 2団体				2,000,000

【特別枠・設備助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	社会福祉法人いづみ福祉会 地域活動支援センターいづみ	京都府 木津川市	【軽自動車の購入費】精神障害者の支援センターで茶話会や外出行事などを実施する際の利用者の送迎用の車両の購入費の一部	1,000,000
2	NPO法人京都フォーライフ	久御山町	【新規カフェ厨房機器の購入費】重い障害のある人の雇用を健全に行う優良A型事業所の新規カフェの厨房機器の購入費の一部。	1,000,000
3	社会福祉法人ミッションからしだね 就労継続支援B型事業所 からしだねワークス	京都市 山科区	【厨房機器の購入費】障害のある人が働くカフェの老朽化した台下冷蔵庫、台下冷凍冷蔵庫、冷凍ストッカーの購入費	1,000,000
小 計 3団体				3,000,000

【通常枠・運営助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	NPO法人障害者芸術推進研究機構	京都市 北区	障害のある人の作品展示事業（第3回日本国際芸術祭出展）の活動費の一部	200,000
2	つるかめ笑顔クラブ	上京区	高齢者を対象にした健康作り（フレイル予防、認知症予防）のための活動の一環で昔の懐かしい歌を歌う記念大会などの活動費	120,000
3	京都府網膜色素変性症協会	中京区	視覚障害のある人を対象にしたミニ交流会を京都市内及び府北部と南部で行う交通費や交流事業、啓発用リーフレットの作成などの活動費	200,000
4	全国パーキンソン病友の会 京都府支部		パーキンソン病患者と家族の会でパーキンソン病の人のための心の豊かさを得るための非日常の外出や交流活動を行うための活動費	160,000
5	サークルたんぽぽ燦燦会		障害のある人と大学生ボランティアと一緒に余暇活動を企画し、社会参加活動を行うための活動費	100,000
6	NPO法人 お客様がいらっしゃいました.	下京区	生理用品を経済的な理由で入手できない生理の貧困の解消に向けた支援、生理の知識発信などの活動費。	220,000
7	子ども会・少年団を育てる 左京センター	左京区	子ども会・少年団づくりを保護者や青年指導員とともに進める左京の5つの少年団の指導員育成などの活動費	100,000
8	ハンド&ネイルケア ボランティアチーム ガンチャー		京都市内の高齢者施設や福祉施設に福祉ネイリストらが訪問し、ハンド&ネイルケアを無償で実施。ネイル用品などの購入費の一部	150,000
9	NPO法人 助けあいグループりぼん	東山区	介護保険制度外の人への支援、高齢者の生活援助活動を行うグループの電話受付当番ボランティアの交通費の一部	100,000
10	ジョイント 西京視覚障害者ボランティア	西京区	西京区在住の視覚障害のある人の外出支援や地域のイベント会場や小中学校への福祉授業などを行う活動費	50,000
11	笑顔を届ける天使たち ボランティアキッズ	伏見区	バレエやダンスのレッスンを受講する子どもたちが高齢者施設を慰問し、世代間の交流やボランティア精神を育むための活動費	200,000
12	NPO法人 京都子育てネットワーク		乳幼児の子育て家庭など親子が集える深草商店街内の拠点「ふかふか子育てコミュニティベース」で行う地域での暮らしや交流事業の活動費	100,000
13	逢坂アモーレ子ども食堂	滋賀県 大津市	障害児者、子ども（不登校・ひきこもり・ヤングケアラー）と保護者を対象にした子ども食堂で、食事提供および文化芸術に触れてもらう事業の活動費	200,000
14	香こちーkokochiー		学校に行きづらい不登校の小中学生が学校、家庭以外で過せるフリースクールで食育や生活の基盤となる体づくりのための活動費	200,000
15	JAGUARの部屋	草津市	学校に行きづらい小中学生と高次脳機能障害などの障害がある人がつくる畑事業の活動費	200,000
16	竜法師村おこしの会 にんにん広場	甲賀市	人口減少する農村地域で子どもたち・若い世代と高齢者との交流事業のための子ども食堂や収穫体験などの活動費	250,000
小 計 16団体				2,550,000

【通常枠・設備助成】

(単位:円)

No	団体名	地域	内容	助成額
1	社会福祉法人竹毛希望の家 障害福祉サービス事業所ちくもう	京都府 福知山市	【エレベーター修理費の一部】身体および知的障害のある人たちが手仕事を行う生活介護・就労継続支援B型事業所の経年劣化による不具合で使用停止中のエレベーターの修理費の一部	400,000
2	社会福祉法人山城福祉会 志津川福祉の園	宇治市	【電気釜購入費】知的障害をもつ人が陶芸・織物縫製などのものづくりなどを行う生活介護・就労継続支援B型事業所の老朽化した電気釜の購入費	400,000
3	NPO法人 城陽市の精神保健福祉をすすめる会 野の花	城陽市	【ソフトウェアの購入費】精神障害のある人が主に紙漉き、紙製製品・布製品加工、下請け作業などを行う。新規パソコンへ移行によるソフトウェアの購入費	100,000
4	NPO法人城山共同作業所	南丹市	【エアコン2台購入費】身体・知的・精神障害のある人が受注作業、手芸・縫製、物品販売や出店事業などを行う就労継続支援B型事業所の分所2階のエアコン未設置2部屋分のエアコン購入費	400,000
5	NPO法人Salut	京都市 上京区	【エアコン1台購入費】こころの病気をもつ女性たちが縫製・つまみ細工・七宝焼きなどの仕事を行う就労継続支援B型事業所の1階店舗の故障しているエアコンの購入費	250,000
6	一般社団法人異才ネットワーク	滋賀県 大津市	【エアコン、机、いす、照明器具等の購入費】発達障害をもつ子どもを対象に日中の居場所として支援を行う新拠点の環境整備のための物品購入費	450,000
7	NPO法人宅老所心	草津市	【ガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機の購入費】年齢や障害の有無にかかわらず誰もが集える居場所事業を行う拠点の老朽化したガスコンロ、冷蔵庫、洗濯機の購入費	450,000
小 計 7団体				2,450,000
運営・設備（特別枠を含む） 合 計 28団体				10,000,000

2024年度「後援助成」助成団体一覧

(単位：F)

No	実施日	団体名	助成額
1	4月13日	公益社団法人京都市身体障害者団体連合会	20,000
2	4月13日	ふれあいねっと京都	20,000
3	4月27日	京都障がい者フライングディスク協会	20,000
4	5月18日	長岡京市身体障がい者団体連合会	20,000
5	5月26日	公益財団法人関西盲導犬協会	20,000
6	5月18日	NPO法人きょうと介護保険にかかわる会	10,000
7	5月26日	京都府児童福祉施設連絡協議会	10,000
8	5月19日-11月10日	社会福祉法人京都府母子寡婦福祉連合会	225,000
9	6月8日	NPO法人京都ほっとはあとセンター市内ブロック	20,000
10	6月15日	宇治市障害者スポーツ大会実行委員会	20,000
11	6月23日	舞鶴市身体障害者団体連合会	20,000
12	7月26日	相模原殺傷事件を考える実行委員会	20,000
13	7月20日	公益財団法人おりづる会	20,000
14	7月26日	京都市臨床動作法 かざぐるまの会	20,000
15	7月21日、10月20日、12月22日	京都言友会	20,000
16	8月3日	全国心臓病の子どもを守る会京都支部	20,000
17	8月25日	障害者多機能型事業所西陣工房	20,000
18	9月29日	特定非営利活動法人命輝け第九コンサートの会	30,000
19	9月8日	京都府里親会	20,000
20	9月29日	京都府中途失聴・難聴者協会	10,000
21	9/21-23	社会福祉法人なづな学園すずしろ	20,000
22	10月19日	社会福祉法人京都視覚障害者支援センター	20,000
23	10月22日	京都介護サービス協同組合	20,000
24	10月5日	社会福祉法人京都市身体障害者団体連合会	20,000
25	10月27日	わくわく^kyoto^	30,000
26	10月14日	生涯学習支援グループWITH	10,000
27	10月31日	認定NPO法人セカンドハーベスト京都	20,000
28	10月26日	社会福祉法人大木会	30,000
29	10月20日	長岡京市身体障がい者団体連合会	20,000
30	11月16日	京都府障害者社会参加推進センター	20,000
31	11月16日	特定非営利活動法人障害者の就労と余暇を考える会メロデ	20,000
32	11月16日	NPO法人ソーシャル・アクション・パートナーシップ	20,000
33	11月8日	きょうされん第47回全国大会inしが実行委員会	30,000
34	11月11日	一般社団法人京都精神保健福祉協会	20,000
35	11月9日	京都府児童福祉施設連絡協議会	10,000

36	11月24日	Reducation	20,000
37	11月10日	一般社団法人京都ボランティア協会	20,000
38	11月17日	一般社団法人京都障害者スポーツ振興会	20,000
39	12月8日	公益社団法人京都府視覚障害者協会	30,000
40	12月1日	一般社団法人京都市ひとり親家庭福祉連合会	30,000
41	12月7日	公益財団法人おりづる会	20,000
42	12月15日	一般社団法人日本筋ジストロフィー協会京都支部	20,000
43	12月1日	就労継続支援B型ソラストン	10,000
44	12月7日	長岡京市障がい者児の人権を考える市民のひろば実行委員	20,000
45	12月8日	特定非営利活動法人彦根育成会	20,000
46	1月25日	共生のまち演劇プロジェクト実行委員会	30,000
47	1月11日	一般社団法人京都府自閉症協会	20,000
48	1月25日-26日	あい・らぶ・ふえあ実行委員会	20,000
49	1月18日	障害者権利条約の批准と完全実施をめざす京都実行委員会	20,000
50	1月25日	特定非営利活動法人EAP京都心の健康支援センター	20,000
51	2月8日	きょうされん京都支部	30,000
52	2月15日	NPO法人おおつ障害者の生活と労働協議会	20,000
53	2月23日	全国脊髄損傷者連合会京都府支部	20,000
54	3月30日	宇治ボランティア活動センター	30,000
55	3月9日	京都福祉まつり実行委員会	20,000
56	3月16日	第58回白杖安全デー実行委員会	30,000
57	3月8日	京都府中途失聴・難聴者協会	10,000
58	3月7日	気楽にお話ししましょう会	10,000
59	3月12日	一般社団法人ART Along	10,000
60	3月16日	NPO法人京都難病連	20,000
61	3月20日	社会福祉法人向陵会	20,000

合 計 61件 1,435,000

※申請は71件、助成61件、後援のみ7件、中止1件、後援助成ともしない2件

「京都新聞愛の奨学金」申請者・支給者数

(申請者数はカッコ内。単位・人)

		2024年度	2023年度
一般	高校生	84 (176)	100 (182)
	大学・専門学校生	105 (224)	128 (238)
	小 計	189 (400)	228 (420)
交通遺児	高校生	6 (6)	4 (4)
	大学・専門学校生	6 (6)	6 (6)
	小 計	12 (12)	10 (10)
定時制・通信制	高校生	10 (10)	11 (11)
児童養護施設	高校生	145	158
総 計		356	407

2024年度 選考委員 (50音順)

【工賃増へ向けての取り組み助成】

植 木 力 氏 (委員長) 株式会社カスネット代表取締役社長
 出 口 龍 氏 NPO法人京都ほっとはあとセンター事務局長
 宮 川 草 平 氏 滋賀県中小企業家同友会ユニバーサル委員長

【京都新聞福祉活動支援】

荒 川 林太郎 氏 社会福祉法人京都市社会福祉協議会事務局長
 猪 熊 佳 子 氏 日本画家
 坂 田 徹 氏 (委員長) 社会福祉法人京都府社会福祉協議会福祉部長
 高 橋 宏 和 氏 社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会事務局次長
 山 科 昌 子 氏 京都商工会議所女性会理事

【京都新聞愛の奨学金】

伊 住 公一朗 氏 公益社団法人京都青年会議所理事長
 大 藪 俊 志 氏 (委員長) 佛教大学社会学部教授
 横 江 美佐子 氏 京都市南青少年活動センター所長

【京都新聞福祉賞・京都新聞福祉奨励賞】

川 村 妙 慶 氏 真宗大谷派僧侶
 小 山 隆 氏 (委員長) 同志社大学教授
 城 貴 志 氏 NPO法人滋賀県社会就労事業振興センター理事長
 永 田 萌 氏 京都市子育て支援総合センターこどもみらい館館長
 森 田 美千代 氏 一般社団法人京都障害者スポーツ振興会副会長



ともに生きる
[TÔMŌNI- IKIRU]